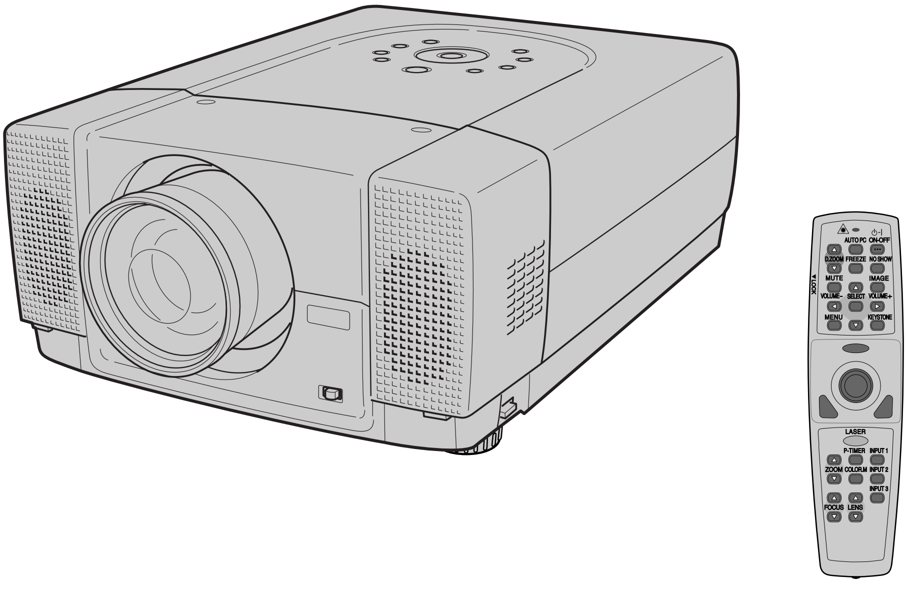
EIKI

液晶プロジェクター

LC-X71D / LC-X71DL 型
取扱説明書



LC–X71DLにはレンズは付いておりません。
別売のレンズをご使用ください。

このたびはEIKI液晶プロジェクターをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。とくに4～11ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、保証書といっしょに、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。わからないことがあったときなどにお役に立ちます。

PJLink™

映機工業株式会社

LC-X71D / LC-X71DL の特長

1024 x 768ドットの高解像度液晶パネルの採用により、XGAコンピュータにリアル対応。SXGA、UXGAにも圧縮対応。

遠隔操作でスマートなプレゼンテーションを可能にするワイヤレス・ワイヤード兼用リモコンを付属

❏プロジェクターおよび接続したコンピュータの両方の操作ができ、さらにプレゼンテーション時に便利なレーザポインタ機能が付いたワイヤレスリモコンを付属。

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

❏ボタン操作でレンズを上下にスライドさせ、画面の位置決めを容易にする電動レンズシフト機能。
❏コンピュータの種類の判別と最適設定を自動で行なう「マルチスキャンシステム」と「自動PC調整」機能。
❏見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投影できる「デジタルズーム機能」。(コンピュータモード時)
❏投影画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン（台形補正）」機能。
❏音声を一時的に消す「MUTE」機能、画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能、画面を一時的に消す「NO SHOW」機能。
❏プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER（プレゼンテーション タイマー)」機能。
❏ステレオ出力のアンプ・スピーカ内蔵で音響施設のない出先などでもプレゼンテーションが可能。
❏DVDプレーヤーやHDTVなどからのコンポーネント映像出力にも対応。

電動レンズシフト機能搭載

❏ボタン操作でレンズを上下にスライドさせ、画面の位置決めを容易にします。

レンズの交換が可能

❏別売オプションレンズとの交換により、ご使用場所に合わせた投影が可能。

DVI-D（デジタル インターフェイス）搭載

❏デジタル ビジュアル インターフェイス（DVI）入力端子により、コンピュータの画像をより鮮明に再現。

プログレッシブスキャン

❏プログレッシブスキャンの採用により、映像をより高画質に投影します。

コンポーネント 映像入力端子を装備

❏DVDやHDTVなどを高画質で再生。

天吊り、据置、リア投影など、さまざまな設置方法に対応。

海外の映像システムにも対応する6カラーシステム。

❏NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-Nカラーシステムに対応。

別売のPJ-to Net Director (PJ-to ネット･ディレクター) を装着することによりプロジェクターをネットワーク経由で操作･管理することが可能。

～本説明書中の記号について～	
	操作上の注意事項や制限事項を記載しています。
	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
[ボタン]名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名称を示しています。 例： [SELECT]ボタン、[COMPUTER IN 1] 端子
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。 例： 「インプット」、「セッティング」

＊本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくじ

安全上のご注意 ・・・・・ 4

準　備

付属品を確認してください ・・・・・ 12
各部の名称 ・・・・・ 13
機器をつなぐ端子 ・・・・・ 14
操作パネルとインジケータ ・・・・・ 15
リモコンのボタン ～1 ・・・・・ 16
リモコンのボタン ～2 ・・・・・ 17
リモコンの準備 ・・・・・ 18
設置のしかた ・・・・・ 19
接続の例～コンピュータ ・・・・・ 21
接続の例～ビデオ ・・・・・ 22

基本の操作

電源コードを接続する ・・・・・ 23
電源を入れる ・・・・・ 24
電源を切る ・・・・・ 26
投影画面を調整する ・・・・・ 27
画面を一時的に静止させる ・・・・・ 29
画面を一時的に消す ・・・・・ 29
プレゼン時に経過時間を表示する ・・・・・ 29
レーザポインタを使用する ・・・・・ 30
音量を調節する・一時的に消音する ・・・・・ 31
オンスクリーンメニューの操作方法 ・・・・・ 32

コンピュータ入力

コンピュータ入力に切り換える ・・・・・ 34
コンピュータシステムの選択 ・・・・・ 35
コンピュータシステムの調整 ・・・・・ 36
イメージの調整 ・・・・・ 40
画面サイズを調整する ・・・・・ 41

ビデオ入力

ビデオ入力に切り換える ・・・・・ 43
カラーシステムや走査方式を選択する ・・・・・ 44
イメージの調整 ・・・・・ 45
画面サイズを選択する ・・・・・ 46

詳細な設定

マニュアルでイメージ調整を行なう ・・・・・ 47
「セッティング」メニューで
各種機能の設定をする ・・・・・ 50

その他

リモコンでコンピュータを操作する ・・・・・ 59
ランプの交換 ・・・・・ 60
お手入れについて ・・・・・ 61
内部の温度上昇について ・・・・・ 63
インジケータ表示と
プロジェクターの状態 ・・・・・ 64
故障かなと思ったら ・・・・・ 65
コンピュータシステムモード一覧 ・・・・・ 66
メニュー内容一覧 ・・・・・ 68
仕　様 ・・・・・ 70
別売品 ・・・・・ 71
端子の仕様 ・・・・・ 72
寸法図 ・・・・・ 73

保証とアフターサービス

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

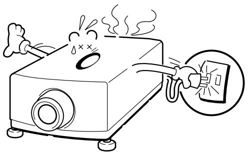
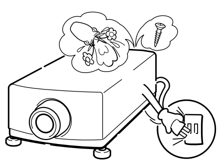
この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

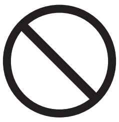
△	注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。 △の中に具体的な注意内容が描かれています。 ⚠ たとえばこの絵表示は「感電注意」を意味します。
⃠	してはいけない行為（禁止事項）を示しています。 ⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「分解禁止」を意味します。
●	しなければならない行為を示しています。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 たとえばこの絵表示は「電源プラグをコンセントから抜け」を意味します。

⚠ 警 告

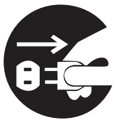
下記のような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

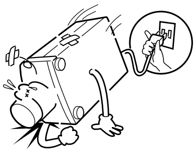
・煙が出ている
・変なにおいや音がする
・水など液体が本機の内部に入った
・金属類や異物が本機の内部に入った
・画面が映らない
・音が出ない
・大きな音が出てランプが消えた


禁　止

故障したまま使用しない。
火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

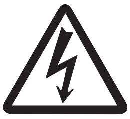
警　告

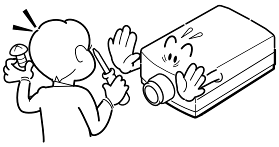

電源プラグを
コンセントから抜け



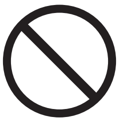
万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

分解禁止

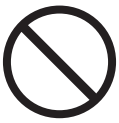

感電注意

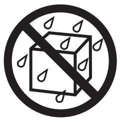


本機のキャビネットは外さないでください。
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。


禁　止

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
※１つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐタコ足配線もしないでください。


禁　止


水ぬれ禁止

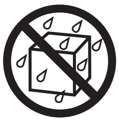
本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 警 告

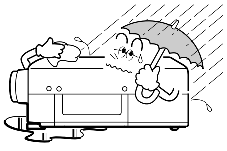
風呂、シャワー室
での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



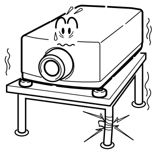
水ぬれ禁止



本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

禁　止



不安定な場所や荷重に耐えられないところに置かないでください。

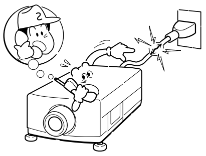
ぐらついた台の上や、傾いた所、高い棚の上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、事故やけがの原因となります。

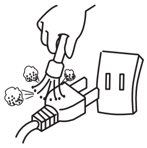
警　告

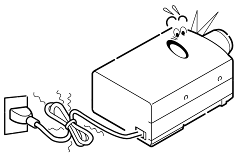
「天吊り」設置をするときは、専用の金具が必要です。

取付が不十分のときは落下する危険があり、事故やけがの原因となります。設置工事も専門の技術者にご依頼ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談下さい。

禁　止



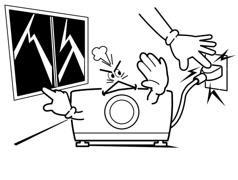




電源コードの取扱に注意してください。

- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。
  コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
  コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ·ごみ·汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くには特にご注意を）
- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。

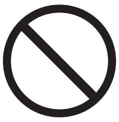
接触禁止



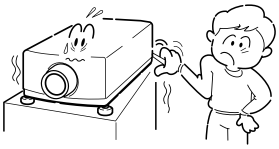
雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

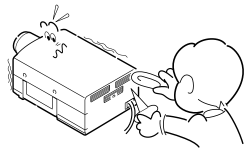
感電の原因となります。

⚠ 警 告



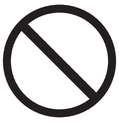
禁　止





吸気口・排気口にご注意下さい。

- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。
- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

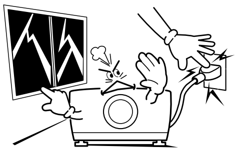


禁　止

本機・リモコンを改造しないでください。

火災・感電の原因となります。

接触禁止



雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。

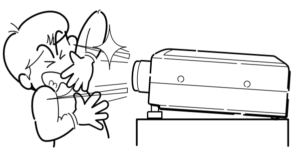
感電の原因となります。

アース線を接続せよ

アース線を接地してください。

本機は接地端子の付いた 3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を接地してください。（詳しくは、23ページをご覧ください。）

警　告



使用中はレンズをのぞかないでください。

強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。吸気口や排気口ものぞかないでください。

警　告

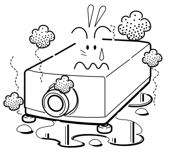
LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLING
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザ放射 クラス 2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVE LENGTH (波長) : 650±20nm

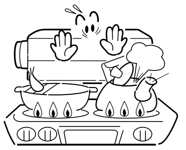
レーザ光にご注意下さい。

リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

⚠ 注 意

禁　止





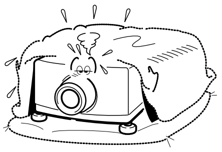
以下のような場所には置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。

禁　止



ご使用のときは、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。

内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● 設置のときは、ファンの排気口を壁から1メートル以上あけてください。

● 空調設備の排気ダクト付近、冷暖気が直接当たる場所などに設置しないでください。

● 次のような使い方はしないでください。

　* 横倒しなど、指定以外の方向への設置。

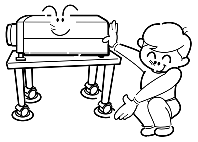
　* 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。

　* じゅうたんや布団の上に置く。

　* テーブルクロスなどを掛ける。

● また、壁など、周囲のものから1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。

注　意



キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。

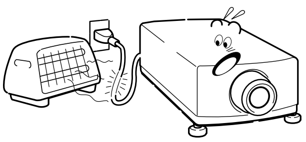
動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁　止

本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。

特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

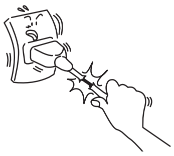
禁　止



電源コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。

禁　止



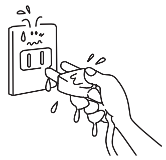
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

また、差し込むときは、根本まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと感電や発熱による火災の原因となります。

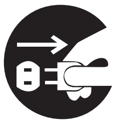
⚠ 注 意

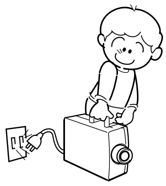
ぬれ手禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

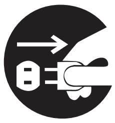
感電の原因となることがあります。

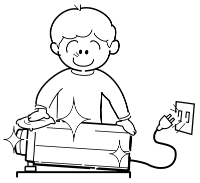

電源プラグを
コンセントから抜け



移動させる場合は、電源コードにご注意下さい。

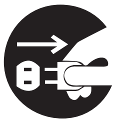
電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、移動してください。接続機器が落下や転倒して、けがの原因になることがあります。また、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

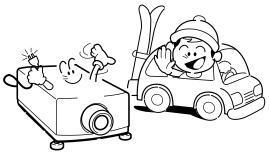

電源プラグを
コンセントから抜け



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

感電の原因となることがあります。

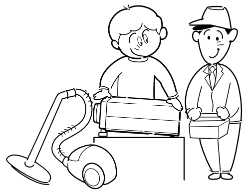

電源プラグを
コンセントから抜け



長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災の原因となることがあります。

注　意



長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。

掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。
持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ、専用のケースに納めて持ち運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。
輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

設置するときは次のことに注意してください

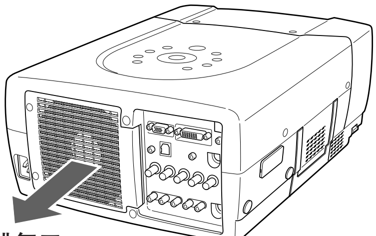
注　意

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。また、温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・観葉植物やペットを置かないでください。
- ・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・排気口付近には視聴席を設けないでください。

熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。手やものを近づけないようにしてください。特に小さいお子さまにはご注意ください。



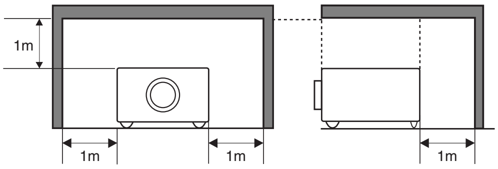
● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲	5℃～35℃	保管温度範囲	−10℃～60℃

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因や、プロジェクターの寿命を縮めたり、故障の原因となることがあります。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込んだりしないで、風通しのよい場所に設置してください。
（上方・側面・後面・排気口：各1m以上）



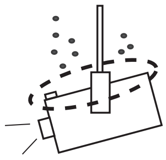
● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

エアフィルターを定期的に掃除してください

吸気口のエアフィルターは、プロジェクター内部の光学部品（レンズやミラー）をホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクターを冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。長期間プロジェクターの安全と性能を維持するためには、エアフィルターを定期的に掃除することが必要です。掃除の目安はプロジェクターをご使用になる環境によって異なります。通常の生活環境でプロジェクターをご使用になる場合は、約200時間のご使用のたびにエアフィルターの掃除をされることをおすすめします。ホコリや煙が多い場所でプロジェクターをご使用になる場合、その状況によってこまめに掃除を行なってください。エアフィルターの掃除の手順は62ページをご覧ください。

天井から吊り下げてご使用になるときに

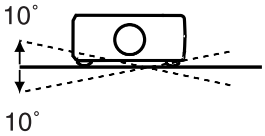


天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用になるときは、吸気口や排気口、エアフィルターの掃除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコリがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口についたホコリは掃除機などで取りのぞいてください。

注　意

正しい方向に設置してください

プロジェクターは正しい方向に設置してください。誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となります。



傾きは 10°以内に

左右への傾きは各10度以内としてください。

横置き禁止

横に立てて設置して投影しないでください。

⚠ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。

◆この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（[LAMP REPLACE］インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。

◆万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。目や口に入った場合は、すみやかに医師にご相談ください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

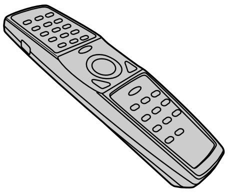
プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

準　備

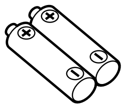
付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

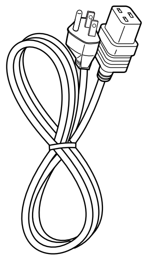
❶ リモコン



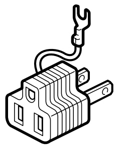
❷ リモコン用アルカリ乾電池（単三形2本）



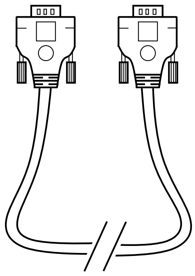
❸ 電源コード



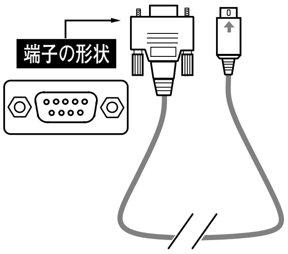
❹ 電源プラグアダプタ



❺ コンピュータ接続ケーブル (D-sub用)

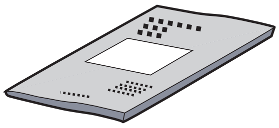


❻ マウス コントロール ケーブル (シリアル用)

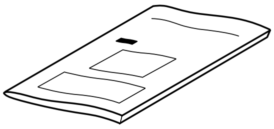


❼ マウス コントロール ケーブル (USB用)

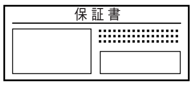
❽ 取扱説明書 (本書)



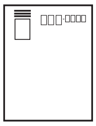
❾ レンズ交換・取付作業手順書



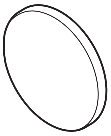
❿ 保証書



⓫ 保証登録書 (はがき)



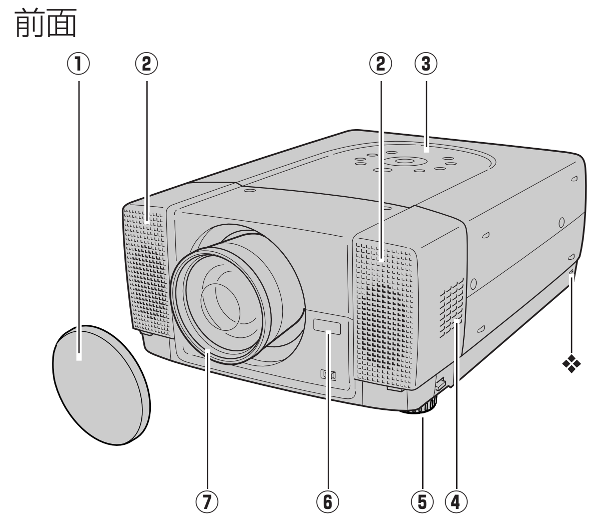
⓬ レンズキャップ ✻

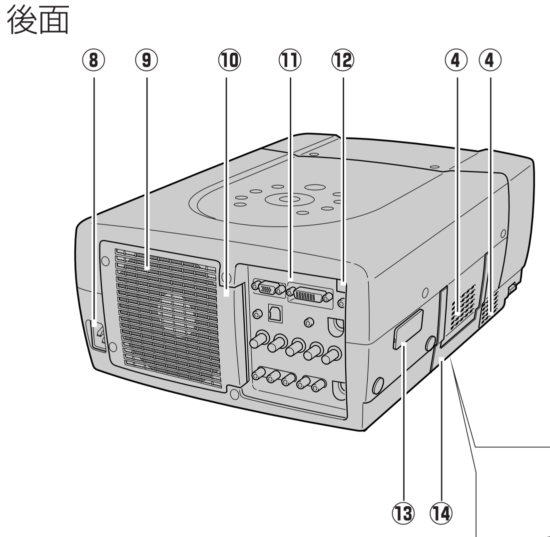


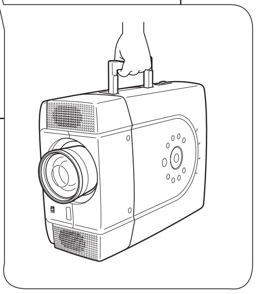
⓭ PIN code lock シール

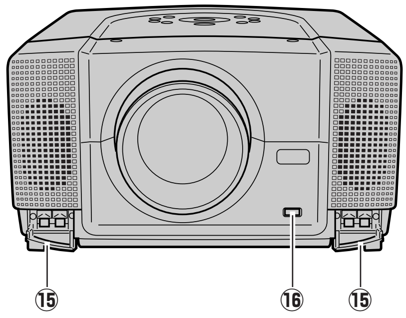
✻ LC-X71Dのみに付属
　※ 別売レンズに付属されています

各部の名称









⚠ ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。

① レンズキャップ ✻★1
② スピーカ
③ 操作パネル ☞15ページ
④ 吸気口★2
⑤ 調整脚（左右にあります） ☞20ページ
⑥ リモコン受信部-1 ☞18ページ
⑦ レンズ✻
⑧ 電源コード接続ソケット ☞23ページ
⑨ 排気口 ★3
⑩ ランプカバー ☞60ページ
⑪ 後面端子 ☞14ページ
⑫ リモコン受信部-2 ☞18ページ
⑬ PJ-to ネット・ディレクター取付部
⑭ キャリングハンドル
⑮ 外部スピーカ出力端子 ☞21、22ページ
⑯ スピーカ出力切替スイッチ ☞21、22ページ

✻ LC-X71Dのみに付属
※ 別売レンズに付属されています

❖ 盗難防止用ロック穴
盗難防止用のチェーンなどを取り付けるときに使用します。
ケンジントンロックのホームページもご参照ください。
（http://www.kensington.com/）
※ KensingtonはKensington Technology Groupの登録商標です。

★1

⚠ 別売レンズにはレンズキャップが付いています。外すときは、レンズキャップの両端をもって手前に引いてください。ランプ点灯中はレンズキャップをかならず外してください。レンズキャップをつけたまま点灯すると、レンズキャップの変形および火災の原因となります。ご使用後はレンズをホコリや傷から守るためにレンズキャップをはめてください。

★2

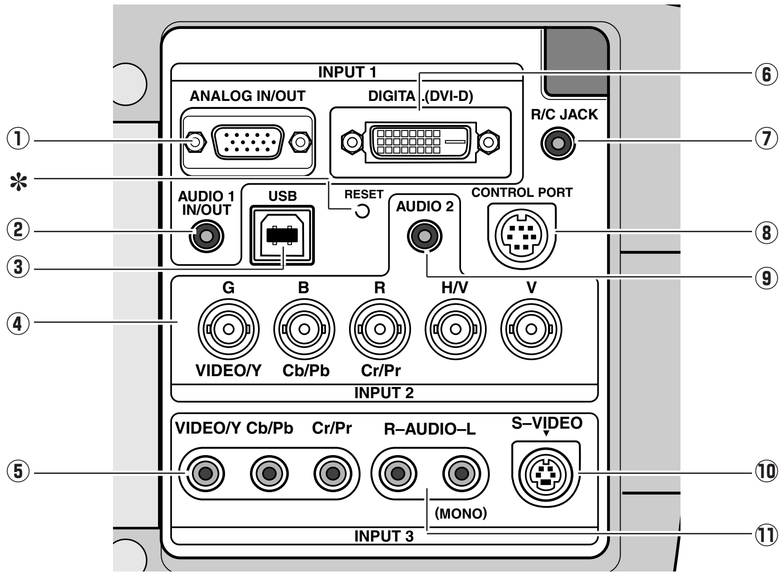
⚠ 内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

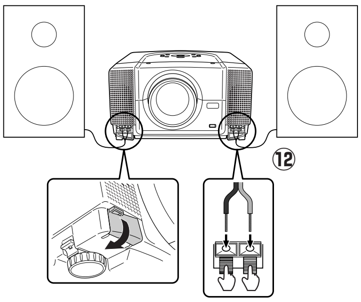
★3

⚠ スプレーなど、引火性のもの、燃えやすいもの、熱で変形しやすい物を近くに置かないでください。火災や火事の原因となります。

機器をつなぐ端子

後面端子





① ANALOG IN/OUT　☞21、72ページ
（コンピュータアナログ入出力端子）
コンピュータからのアナログ（RGB）出力と接続します。またはコンピュータのモニター出力として使用することができます。接続には付属のコンピュータ接続ケーブル（D-sub用）を使用します。

② AUDIO 1 IN/OUT（音声入出力端子）
☞21ページ
①または⑥に接続された、コンピュータからの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。または⑨に接続された音声を外部のオーディオ機器へ出力する端子として使用することができます。

③ USB（USB端子:シリーズB）☞21、72ページ
コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータのUSB端子を付属のUSBケーブルでつなぎます。

④ G,B,R,H/HV,V (VIDEO/Y,Cb/Pb,Cr/Pr)
（ビデオ入力端子およびコンピュータアナログ入力端子）☞21、22ページ
DVDプレーヤーやHDTVなどからのコンポーネント映像出力［Y,Pb,Pr］、または、コンピュータからのアナログ（RGB）出力と接続します。

⑤ VIDEO/Y,Cb/Pb,Cr/Pr（ビデオ入力端子）
☞22ページ
ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。コンポジット映像出力は［VIDEO/Y］へ、コンポーネント映像出力は［VIDEO/Y,Cb/Pb,Cr/Pr］へ接続します。

⑥ DIGITAL(DVI-D)（DVI入力端子）☞21、72ページ
DVI規格対応の端子を持つコンピュータからの信号（デジタル/アナログ）を接続するDVI端子です。接続には別売のコンピュータケーブル（DVI用）を使います。D-sub出力端子（アナログ）のコンピュータへの接続には付属のコンピュータケーブル（D-sub用）と別売のDVI/D-SUB変換アダプタを使います。またHDCPの信号もこの端子に接続します。

⑦ R/C JACK（ワイヤードリモコン用端子）
☞16ページ
この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を別売の接続コードでつなぐと、ワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。

⑧ CONTROL PORT
（コントロールポート端子）☞21、72ページ
コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行なうときに、この端子とコンピュータのマウスポートを付属のマウスコントロールケーブルでつなぎます。

⑨ AUDIO 2（音声入力端子）☞21、22ページ
④に接続されたコンピュータまたはビデオ機器からの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。

⑩ S-VIDEO（S映像入力端子）☞22ページ
ビデオ機器からのS映像出力をこの端子に接続します。

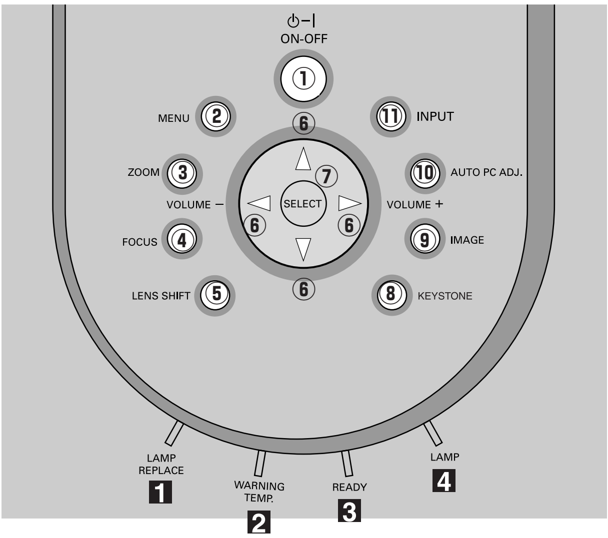
⑪ R-AUDIO-L（音声入力端子3）☞21、22ページ
⑤または⑩に接続されたビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は［L (MONO)］端子へ接続してください。

⑫ 外部出力スピーカ端子 ☞21、22ページ
⑤または⑩に接続された、コンピュータやビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続し、スピーカにつなぎます。

✻ リセットボタン
本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行なわれていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行なってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

操作パネルとインジケータ

インジケータ
と
操作パネル
（本体上面）



1 **LAMP REPLACE インジケータ**（黄）
☞64ページ
ランプの交換時期を知らせます。

2 **WARNING TEMP インジケータ**（赤）
☞63、64ページ
赤く点滅して、内部の温度が異常に高くなっていることを知らせます。また、プロジェクターの内部の異常を検知したとき赤く点灯します。

3 **READY インジケータ**（緑）
☞24、26、64ページ
電源を入れる準備ができたとき、またプロジェクターが動作中に緑色に点灯します。

4 **LAMP インジケータ**（赤）
☞24、26、64ページ
主電源が入っているときに赤く点灯します。

① **ON–OFF ボタン** ☞24、26ページ
電源を入り・切りします。

② **MENU ボタン** ☞33ページ
メニューバーを出します。

③ **ZOOM ボタン** ☞27ページ
ズームを調整するときに使います。

④ **FOCUS ボタン** ☞27ページ
フォーカスを調整するときに使います。

⑤ **LENS SHIFT ボタン** ☞27ページ
レンズを上下にスライドさせて、画面の位置を上下に移動させます。

⑥ **ポイント（VOLUME） ボタン** ☞32ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動に使用します。

⑦ **SELECT ボタン** ☞32、41、42ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズーム モードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

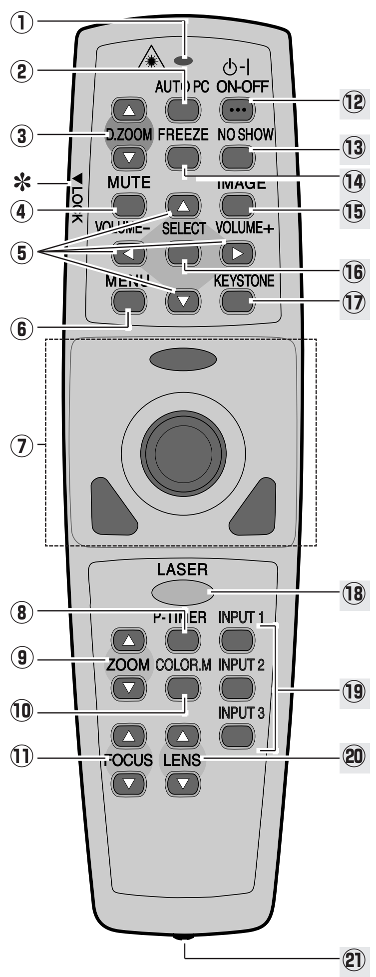
⑧ **KEYSTONE ボタン** ☞28ページ
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。

⑨ **IMAGE ボタン** ☞40、45ページ
イメージモードを選択します。

⑩ **AUTO PC ADJ. ボタン** ☞36ページ
トラッキング・総ドット数・画面位置を自動調整します。

⑪ **INPUT ボタン** ☞34、43ページ
インプット（入力）1・2・3を切り換えます。

リモコンのボタン ～1



① **レーザポインタ・ドラッグオン　インジケータ** ☞30、59ページ
レーザポインタ（レーザ光）が出ているときに赤く点灯します。またドラッグが「ON」のときに緑に点灯します。

② **AUTO PC ボタン**（オートピーシー） ☞36ページ
トラッキング・総ドット数・画面位置を自動調整します。

③ **D.ZOOM ボタン**（デジタルズーム） ☞41、42ページ
デジタルズームの操作をします。

④ **MUTE ボタン**（ミュート） ☞31ページ
音声を一時的に消します。

⑤ **POINT ボタン**（ポイント） ☞31、32ページ
オンスクリーンメニューのポインタの移動やメニューの調整、音量の調整に使用します。

⑥ **MENU ボタン**（メニュー） ☞33ページ
メニューバーを出します。

⑦ **マウス操作 ボタン** ☞59ページ
コンピュータのマウスとして使用します。

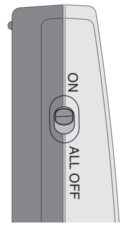
⑧ **P-TIMER ボタン**（ピー タイマー） ☞29ページ
プレゼンテーション (ボタンを押してからの) 経過時間を表示させます。

⑨ **ZOOM ボタン**（ズーム） ☞27ページ
ズームを調整します。

⑩ **COLOR M. ボタン**（カラーマネージメント） ☞48ページ
投影している画像の色を、お好みの色に調整します。

⑪ **FOCUS ボタン**（フォーカス） ☞27ページ
フォーカスを調整します。

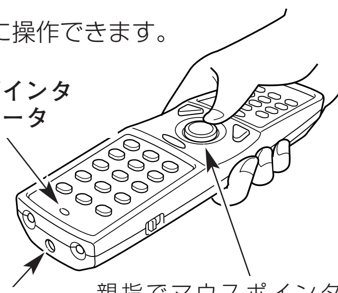
✻　左側面



✻ **ALL OFF スイッチ**（オール オフ）
リモコンを長時間使用しないときには、[ALL OFF] 側にしてください。

● リモコンの持ち方 ●

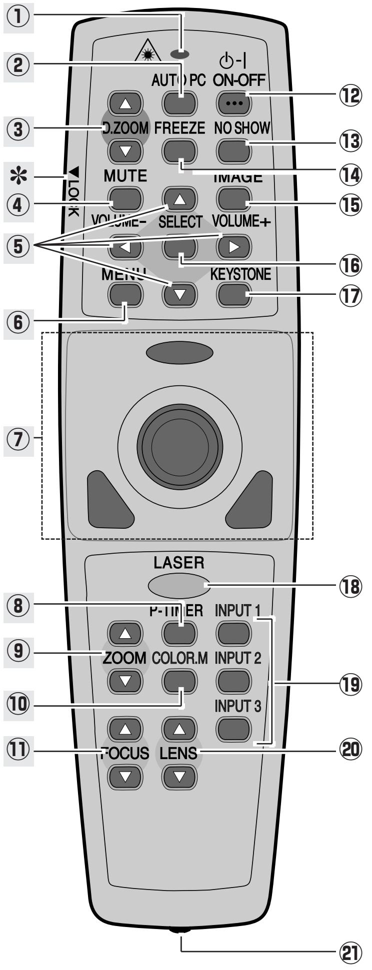
リモコンは図のように持つと便利に操作できます。



リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLING
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザ放射 クラス 2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVE LENGTH (波長) : 650±20nm

リモコンのボタン ～2



⑫ ON–OFF（オン オフ）ボタン ☞24、26ページ
電源を入り・切りします。

⑬ NO SHOW（ノー ショー）ボタン ☞29ページ
画面を一時的に消します。

⑭ FREEZE（フリーズ）ボタン ☞29ページ
画面を一時的に静止させます。

⑮ IMAGE（イメージ）ボタン ☞40、45ページ
イメージモードを選択します。

⑯ SELECT（セレクト）ボタン ☞32、41、42ページ
ポインタの指す項目を選択します。また、デジタルズームモードで画像を拡大または縮小するのに使用します。

⑰ KEYSTONE（キーストーン）ボタン ☞28ページ
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。

⑱ LASER（レーザ）ボタン ☞30ページ
レーザポインタ（レーザ光）を出します。

⑲ INPUT（インプット）ボタン ☞34、43ページ
インプット（入力）を切り換えます。（インプット1～3）

⑳ LENS（レンズシフト）ボタン ☞27ページ
レンズを上下にスライドさせて、画面の位置を上下に移動させます。

㉑ ワイヤードリモコン端子
ワイヤードリモコンとして使用するときは、別売のリモコンコードのでこの端子とプロジェクターのリモコン端子［R/C JACK］を接続します。
※リモコンに電池は必要です。

●ディップ スイッチ の設定 ●

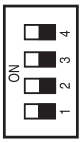
リモコンの電池カバー内に、ディップスイッチがあります。ご使用状況に合わせ、ディップスイッチを設定してください。

スイッチ1、2、3
スイッチの切り換えにより、8モードのリモコンコードに切り換えられます。機器間で類似コードによる誤動作が生じる場合、コードを切り換えてご使用ください。リモコンコードを切り換えると、プロジェクター本体のコード変更も必要です。

※ リモコンコードについての詳細は、55ページをご覧ください。

スイッチ 4
レーザポインタ機能の「ON/OFF」の設定。
［OFF］側にすると機能が停止します。

リモコンコード スイッチ設定



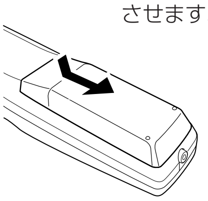
スイッチ 1	スイッチ 2	スイッチ 3	コードNo.
ON	ON	ON	コード 1
ON	ON	OFF	コード 2
ON	OFF	ON	コード 3
ON	OFF	OFF	コード 4
OFF	ON	ON	コード 5
OFF	ON	OFF	コード 6
OFF	OFF	ON	コード 7
OFF	OFF	OFF	コード 8

リモコンの準備

電池の入れかた

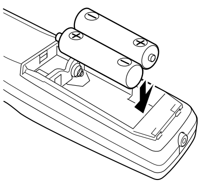
1 電池カバーを開けます。

押しながら
下にスライド
させます。



2 電池を入れます。

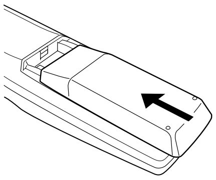
付属の乾電池を＋プラス、
−マイナスに注意して入れます。



使用乾電池
単3形アルカリ乾電池2本

3 電池カバーを閉めます。

上にスライド
させます。



電池を使用するときのご注意

注　意　　禁　止

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。

- 種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- 乾電池は充電しない。分解しない。
- ＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
- 可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- 電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。

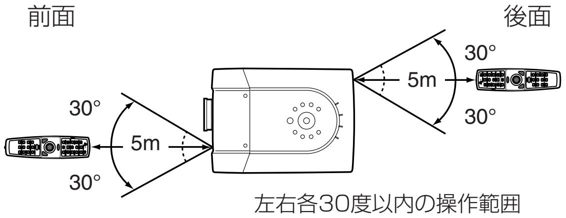
また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- 長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。
- 液が体についたときは、すみやかに洗い流す。

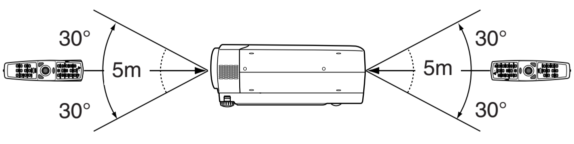
リモコンで操作できる範囲

ワイヤレスリモコンとして使用する場合、リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面のリモコン受信部から約5m以内、上下左右30度以内です。

※ 間に障害物があると操作の妨げになります。



左右各30度以内の操作範囲



上下各30度以内の操作範囲

リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当らないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

警　告

リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

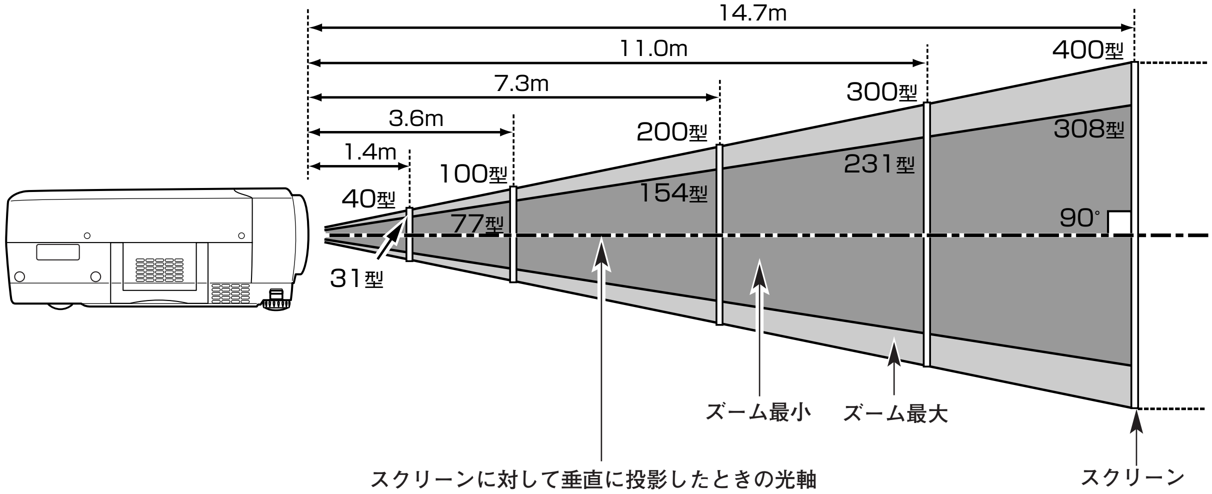
LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザ放射 クラス 2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVE LENGTH (波長) : 650±20nm

設置のしかた

スクリーンからのおよその距離と画面サイズの関係

※ LC-X71D のみ

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまでの距離を約1.4m～14.7m の範囲に設置してください。

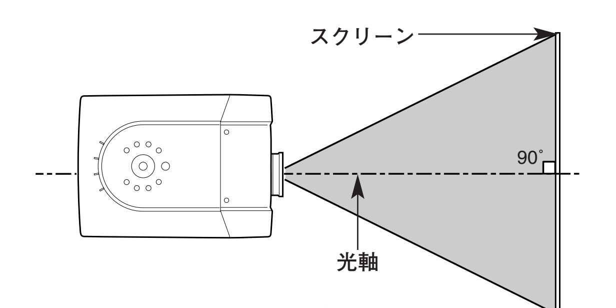


画面サイズ (幅 x 高さ：mm)	40型	60型	100型	150型	200型	300型	400型
	813 x 610	1219 x 914	2032 x 1524	3048 x 2286	4064 x 3048	6096 x 4572	8128 x 6096
投影距離 (ズーム最小)	1.8 m	2.8 m	4.7 m	7.1 m	9.5 m	14.2 m	——
投影距離 (ズーム最大)	1.4 m	2.1 m	3.6 m	5.5 m	7.3 m	11.0 m	14.7 m

※上表は4：3の画面サイズで、投影画像の内容により画面サイズが異なります。☞41、42、46ページ
※表の画面サイズは標準的なもので、実際のサイズと異なります。
※スクリーンは太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落として下さい。
※レンズシフトと調整脚の調整位置により、投影画面の上下の位置は変わります。☞20ページ

スクリーンに対して直角に設置する

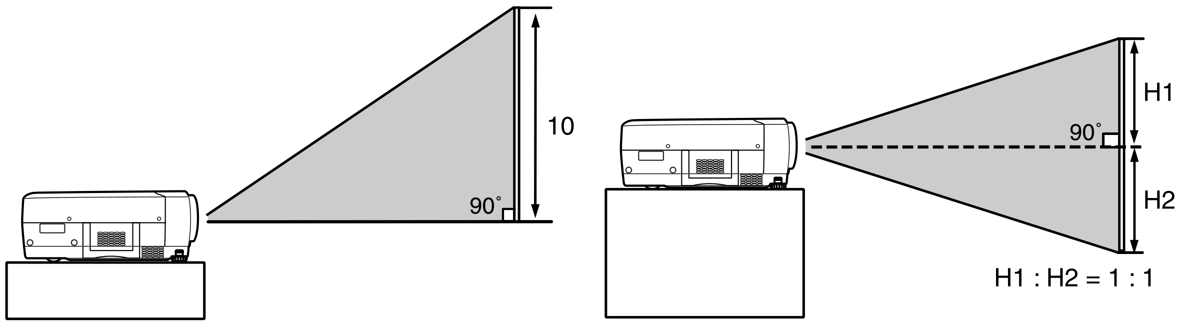
投影したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



上から見た図

レンズシフト機能で画面の位置を合わせる

本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下にスライドさせ、画面位置を上下に移動させることができます。操作のしかたについては、27ページをごらんください。



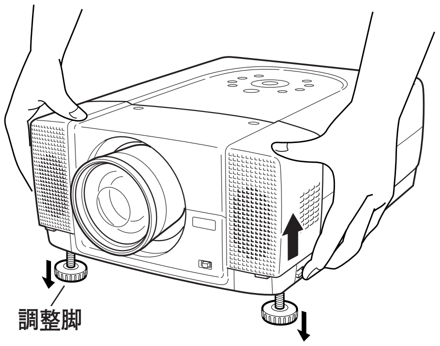
上側へ最大10：0〜下側へ最大1：1の範囲で画面位置の調整ができます。

投影画面の高さと傾きを調整する

画面の上下調整は、はじめにレンズシフトで行ない、そのあと調整脚で高さの調整を行なってください。調整脚のみで調整を行なうと画面に台形のひずみが生じます。

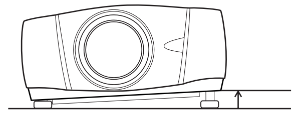
1 本体前方を持ち上げてから両側の調整脚ロックを指で引き上げて調整脚を伸ばし、指を離して調整脚をロックします。

2 本体前方の2つの調整脚をまわして投影画面の高さと傾きを微調整します。最大約10.5度まで上がります。



● 投影したときの光軸の水平方向の傾きは±10度以内に ●

スクリーンに対して光軸の水平方向の傾きが±10度以内になるように投影してください。光軸の水平方向の傾きが大きいと、ランプの寿命に悪い影響を与えます。

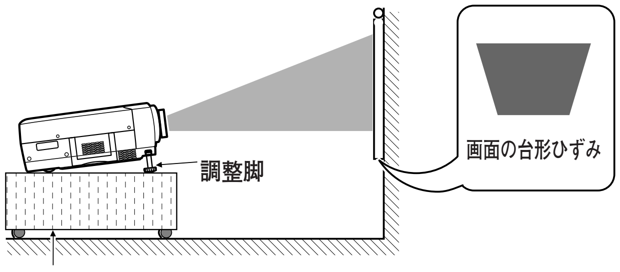


水平の傾きは最大約10度まで

● 画面の台形ひずみ（あおり）●

調整脚を上げると、投影角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。☞28ページ



※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

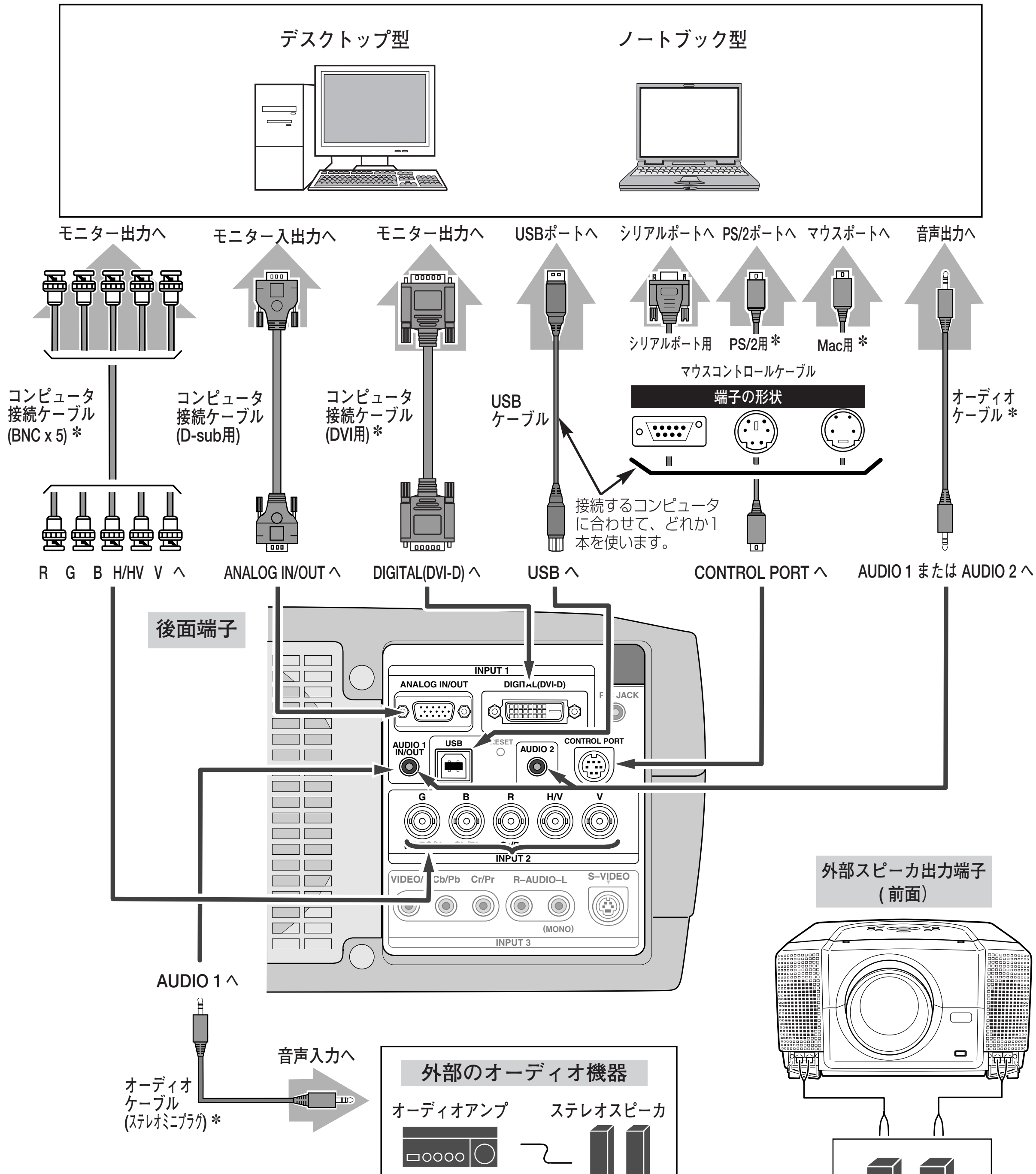
接続の例～コンピュータ

接続に使用するケーブル (* = 市販または別売のケーブルをお使いください。)

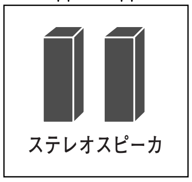
- コンピュータ接続ケーブル
 (D-sub用、 DVI用 *または BNC x 5 *)
- マウスコントロールケーブル
 (シリアルポート用、PS/2用* 、Mac用 *)
- USBケーブル
- オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ *)

コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、キーボードの［Fn］キーを押しながらファンクションキーを押す、などの操作が必要な場合があります。



接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。



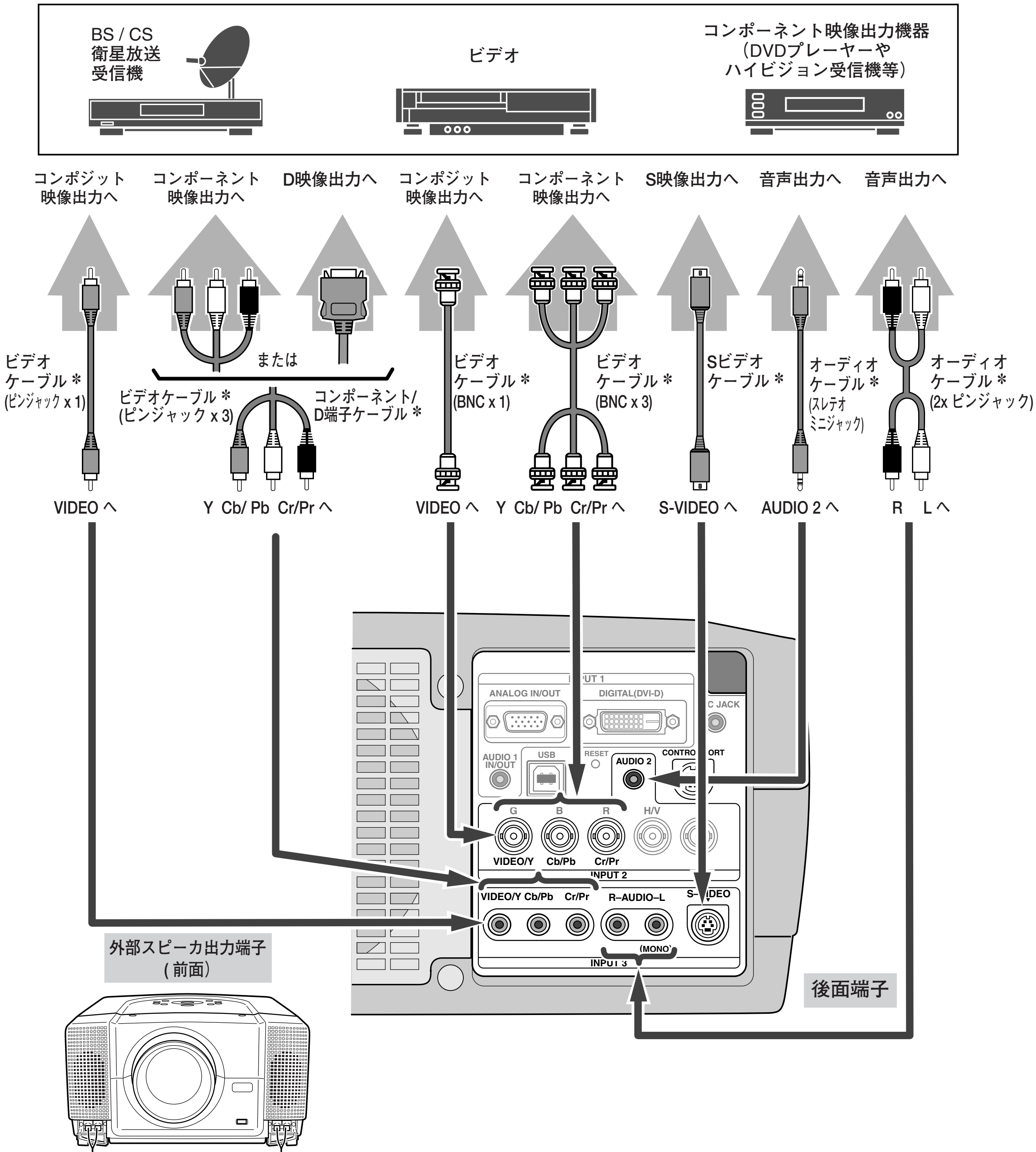
接続の例～ビデオ

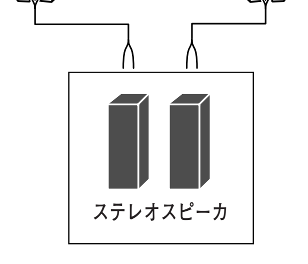
接続に使用するケーブル

＊ 本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使いください。

- ビデオ ケーブル
  （1x ピンジャック、3 x ピンジャック、BNC x 1、BNC x 3）
- Sビデオ ケーブル (ミニDIN 4ピン)　• D端子 ケーブル
- オーディオ ケーブル (2 x ピンジャック)
- オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ)

接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクターと外部機器の両方の電源を切ってから行なってください。

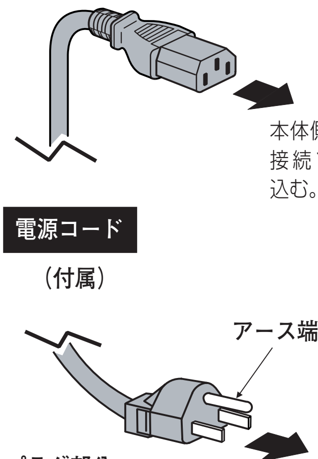




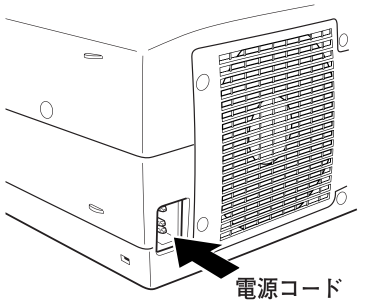
※2台のビデオ機器を接続しているときは、入力端子へのプラグの挿入(信号の有無ではない) を検知して、
1）S-Video、2）Video の順位で入力端子を自動選択します。接続されている入力端子が選択されないときは、インプットメニュー内の信号選択メニューでポインタを合わせ、［SELECT］ボタンで選択してください。 ☞43ページ

電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に14、21、22ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。



1 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き3ピンのACコンセントに差し込みます。

注　意

電源コード取扱上の注意

電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われているものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

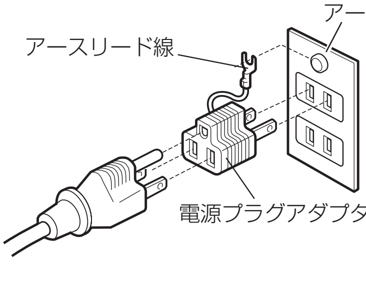
ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、操作パネルやリモコンの［ON-OFF］ボタンで電源を切っても約15Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラグをACコンセントから抜いてください。

電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください

電源コードのプラグはアース端子付き3ピンプラグです。アースは確実に接地してご使用ください。コンセントが2ピン専用（アース端子がない）の場合は、アース工事を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグアダプタを使うときは、安全のため、コンセントに電源プラグアダプタを差し込む前にアースリード線をアースへ接続してください。また、はずすときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いたあとでアースリード線をはずしてください。



基本の操作

電源を入れる

電源コードをつなぐ前に14、21、22ページを参照してコンピュータ、ビデオ機器を接続してください。

1 電源コードをACコンセントに接続します。（☞23ページ）
赤色の［LAMP］インジケータと緑色の［READY］インジケータが点灯します。

2 リモコンまたは操作パネルの［ON-OFF］ボタンを押して電源を入れます。*
［LAMP］インジケータが少し暗めの点灯にかわります。
約30秒間のオープニング画面とそのカウントダウン * が終わると画像が映せます。
スタート時、「インプットモード」（☞34、43ページ）、「信号の種類」（☞35、44ページ）、「ランプモード」（☞54ページ）の表示が約4秒間出ます。

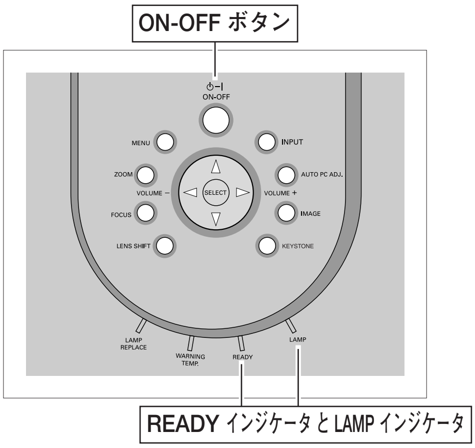
このとき、「セッティング」メニューの「セキュリティ」内の、「暗証番号ロック」（☞56ページ）を「オン1」または「オン2」にしているときは、暗証番号を入力します。

※ 暗証番号の入力方法は次ページを参照ください。

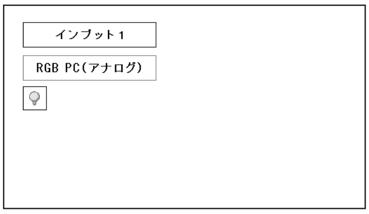
* セッティングメニューで「オンスタート・オン」に設定しているときは、電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

* セッティングメニューで、
- 「オンスクリーン表示・オン」（☞50ページ）、「ロゴ選択・オフ」（☞50ページ）に設定しているときは、カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出ません。
- 「オンスクリーン表示・オフ」（☞50ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」（☞50ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投影されます。
- 「オンスクリーン表示・カウンドダウンオフ」（☞50ページ）に設定しているときは、「ロゴ選択」（☞50ページ）の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投影されます。

操作パネル



リモコン



入力モードと信号の種類、ランプモードの表示
約4秒間表示されます

※ ［LAMP］インジケータ以外のランプが点灯し、電源が入らないときは、64ページの「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で動作を確認ください。

電源を切った後、約90秒間は電源が入りません

電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え高温になったランプを冷却しています。この間は［POWER］ボタンを押しても電源は入りません。
90秒経ち、［READY］インジケータが緑に点灯すれば電源を入れることができます。

電源を入れる、つづき

暗証番号の入力

①「暗証番号ロック」が「オン」のとき、前ページ「2」でカウントダウンが終わったあと、暗証番号を入れる画像があらわれます。

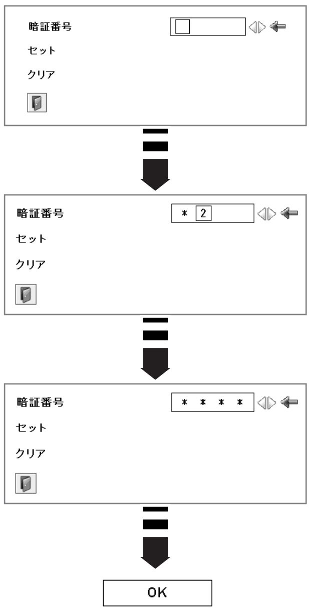
②［ポイント］ボタンの左右で0～9の数字を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、数字の表示が「＊」に変わります。これで１けた目が決定されました。
この操作を繰り返し、「＊」が4つ並んでいれば、4けた全ての数字が決定しています。

③ 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押します。

※ 数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタン下で「クリア」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「＊」が消え入力をやりなおすことができます。

④ 正しく入力されていると、「OK」と書かれた画面が表示され、プロジェクターを操作することができます。

※ 正しい暗証番号が入力されないと、約3分後に電源が切れます。



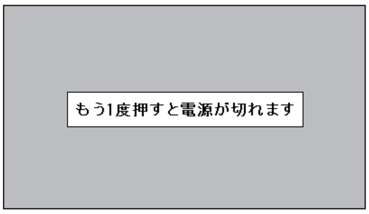
「暗証番号ロック」とは？

管理者以外の暗証番号を知らない、第三者によるプロジェクターの操作を防止します。
詳しくは56ページの「セッティング」メニューの、「セキュリティ」内の「暗証番号ロック」を参照ください。

電源を切る

1 リモコンまたは操作パネルの［ON-OFF］ボタンを押すと、画面に「もう一度押すと電源が消えます」の表示が出ます。

2 表示が出ている間に再度［ON-OFF］ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると緑色の［READY］インジケータが消え、赤色の［LAMP］インジケータが明るく点灯します。



※表示は約4秒間出ます。

電源を切った後、約90秒間は電源が入りません

電源を切った後、約90秒間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は［ON-OFF］ボタンを押しても電源は入りません。約90秒経ち、緑色の［READY］インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、［ON-OFF］ボタンで操作してください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

冷却ファンについて

投影している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り替わりますが、故障ではありません。

パワーマネージメント機能とそのはたらき

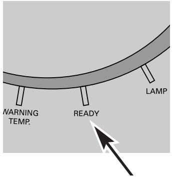
本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。
工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。☞54ページ

ランプ消灯までの時間

パワーマネージメントの動作について

<u>設定が「**待機**」の時</u>

1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作に入ります。ランプ冷却中は［READY］インジケータが消灯し、プロジェクターの操作は出来ません。
2) ランプの冷却が完了すると［READY］インジケータが点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態の時に、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。



パワーマネージメントモードになると、［READY］インジケータが点滅を始めます。

<u>設定が「**シャットダウン**」の時</u>

1) タイマーのカウントダウンが完了すると ランプが消灯し、ランプ冷却動作に入ります。ランプ冷却中は［READY］インジケータが消灯し、プロジェクターの操作は出来ません。
2) ランプの冷却が完了すると 、電源が切れます。

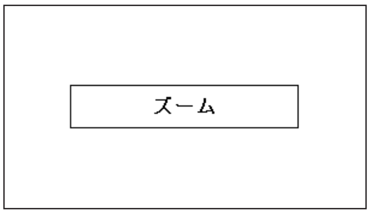
プロジェクターを24時間以上連続して使用する場合は、24時間に一度電源を切り1時間休ませてください。
休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

投影画面を調整する

画面の大きさを決める

リモコンで操作するとき

［ZOOM］ボタン 上・・・画面が大きくなります。
［ZOOM］ボタン 下・・・画面が小さくなります。



※表示は約4秒間出ます。

操作パネルで操作するとき

1 操作パネルの［ZOOM］ボタンを押します。
画面に「ズーム」表示が現れます。

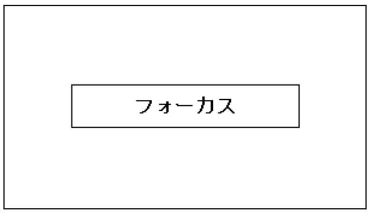
2 表示が出ている間に［ポイント］ボタンの上下で、画面の大きさを調整します。
［ポイント］ボタン 上・・・画面が大きくなります。
［ポイント］ボタン 下・・・画面が小さくなります。

基本の操作

フォーカスを合わせる

リモコンで操作するとき

リモコンの［FOCUS］ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。



※表示は約4秒間出ます。

操作パネルで操作するとき

1 操作パネルの［FOCUS］ボタンを押します。
画面に「フォーカス」表示が現れます。

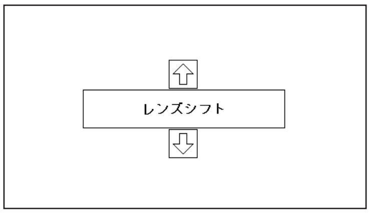
2 表示が出ている間にポイントボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に映るように焦点を合わせます。

レンズシフト機能で画面の位置を上下に動かす

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

1 リモコンの［LENS］ボタン上下、または操作パネルの［LENS］ボタンを押します。
画面に「レンズシフト」表示が現れます。

2 表示が出ている間にリモコンの［LENS］ボタン上下、または操作パネルの［ポイント］ボタンの上下で、画面の位置を上下に動かします。



※ 表示は約4秒間出ます。
※ 画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなることがあります。

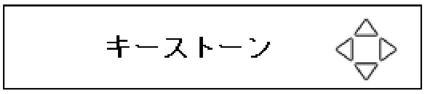
ご注意・著作権について

この液晶プロジェクターを営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り替え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

リモコンまたは操作パネルの［KEYSTONE］ボタンを押します。
「キーストーン」表示が現われます。表示が出ている間に上下左右のポイントボタンで画面の台形ひずみを補正します。
［ポイント］ボタン 上・・・画面上部の幅が縮みます。
［ポイント］ボタン 下・・・画面下部の幅が縮みます。
［ポイント］ボタン 左・・・画面左部の高さが縮みます。
［ポイント］ボタン 右・・・画面右部の高さが縮みます。



※ 表示は約10秒間出ます。
※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。
※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。（無補正の場合の表示は白色です。）
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

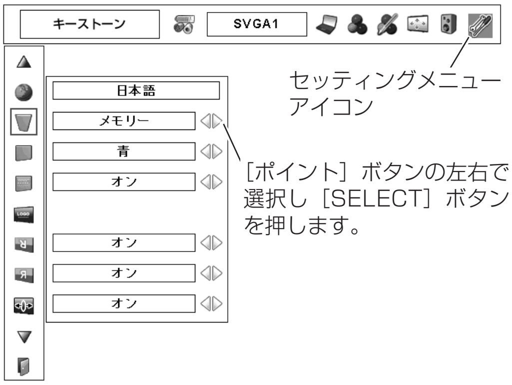
※「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度［KEYSTONE］ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。

オンスクリーンメニューで操作するとき

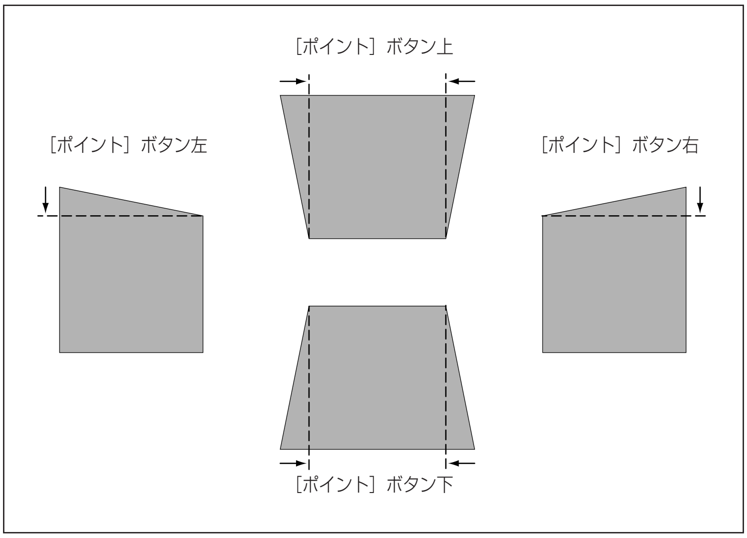
1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン下でポインタをキーストーンのアイコンに合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。
［ポイント］ボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。☞50ページ
もう一度［SELECT］ボタンを押すと、キーストーン調整モードに入ります。画面に「キーストーン」表示が現われます。

3 表示が出ている間に上下左右の［ポイント］ボタンで画面の台形ひずみを補正します。



※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

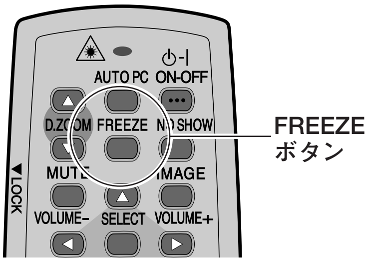


画面を一時的に静止させる（FREEZE）

画面を一時的に静止させる（FREEZE）

リモコンの［FREEZE］ボタンを押すと、再生機器に関係なく投影画面だけが静止します。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。
※ ［FREEZE］ボタンは操作パネルにはありません。

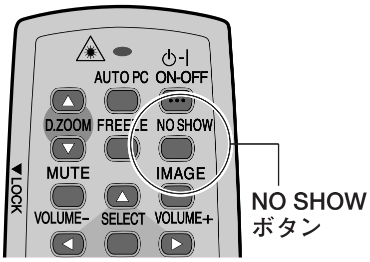


こんなときに便利です
プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には［FREEZE］ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行なえます。

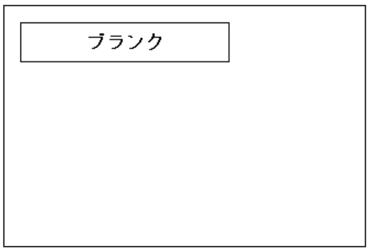
画面を一時的に消す（NO SHOW）

リモコンの［NO SHOW］ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投影画面を一時的に消すことができます。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押しても解除することができます。
※ ［NO SHOW］ボタンは操作パネルにはありません。



こんなときに便利です
プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

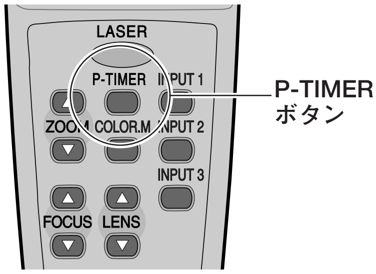


※ 表示は約4秒間出ます。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

プレゼン時に経過時間を表示する（P-TIMER）

リモコンの［P-TIMER］ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。
もう一度［P-TIMER］ボタンを押すと経過時間のカウントを止め、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに［P-TIMER］ボタンを押すと解除されます。

※［P-TIMER］ボタンは操作パネルにはありません。

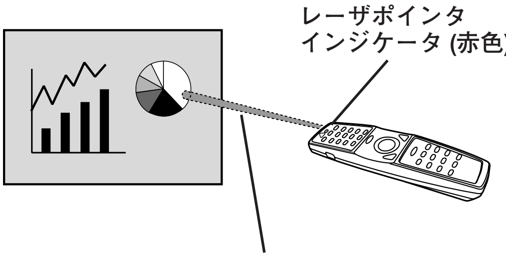


こんなときに便利です
プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行なうことができます。

※00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

レーザポインタを使用する（LASER）

リモコンの［LASER］ボタンを押している間［レーザポインタ］インジケータ（赤色）が点灯し、リモコンのレーザポインタ発光部からレーザビームが出ます。☞16ページ
ボタンを押すのを止めると、レーザビームの発光は止まります。



※［LASER］ボタンは操作パネルにはありません。
※［LASER］ボタンを押し続けても、1分経つと安全のため自動的にレーザビームの発光が止まります。
［LASER］ボタンを押し直すと、レーザビームが再び出ます。

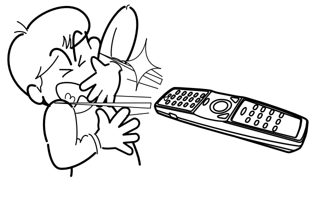
● こんなときに便利です ●

プレゼンテーションで画面の注目してしてほしい部分を赤いレーザ光で指すことができます。

警　告

リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLING
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザ放射 クラス 2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVE LENGTH (波長) : 650±20nm

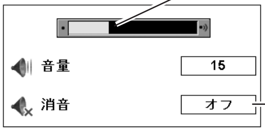


音量を調節する・一時的に消音する（MUTE）

ダイレクトボタンで音を調節する

音　量

リモコンまたは操作パネルの［VOLUME］ボタン（+/–）で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。



※ 表示は約4秒で消えます。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

消　音

リモコンの［MUTE］ボタンを押すと、一時的に音が消えます。もう一度［MUTE］ボタンを押すか、［VOLUME］ボタン（+/–）を押すと解除されます。

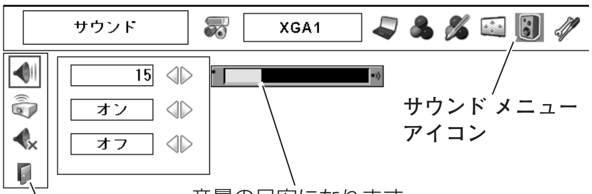
※ ［MUTE］ボタンは操作パネルにはありません。

サウンドメニューで音を調節する

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「サウンド」メニューのアイコンに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン下でポインタをお好みの項目に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。

サウンドメニュー



音　量

［ポイント］ボタン左で音量が小さくなり、［ポイント］ボタン右で音量が大きくなります。
音量のバーを目安に調節してください。

スピーカ

プロジェクター内蔵のスピーカの調整をします。
［ポイント］ボタン右または左で、「オン」「オフ」を切り換えます。

オフ ・・・内蔵スピーカから音を出しません。

消　音

［ポイント］ボタン右または左で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

※ 消音を「オン」にしていても「音量」の数値を変更すれば「オフ」になります。

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

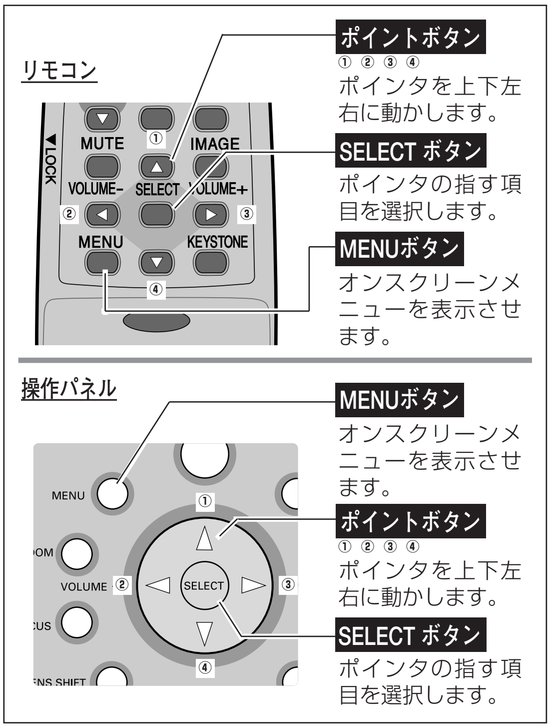
オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

① ポインタの動かしかた

ポインタは、[ポイント] ボタンで上下左右に動かします。[ポイント] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコンを選択するには、[SELECT] ボタンを押します。[SELECT] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。



操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

1 [MENU] ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。(☞次ページ) メニューバーには選択できるメニューがアイコン(操作をイメージした図)の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

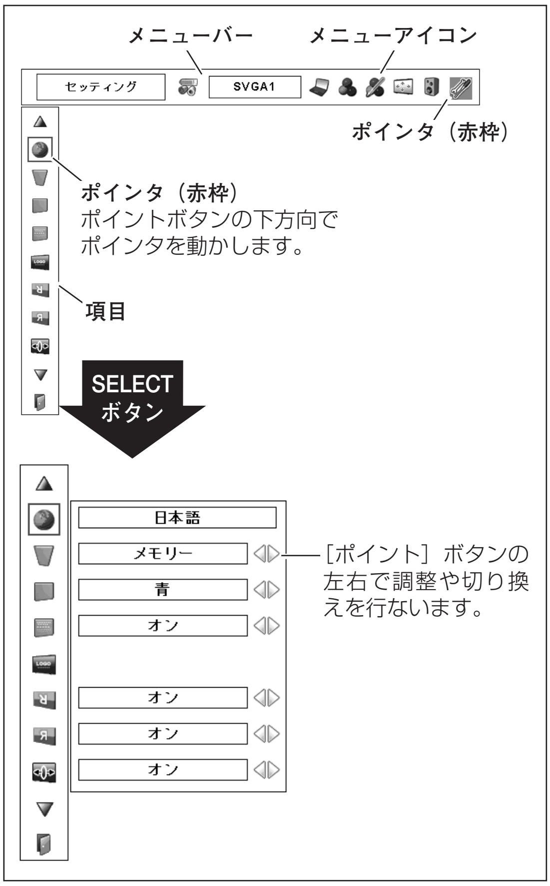
2 赤い枠のポインタを、[ポイント] ボタンの左右で選択したいメニューのアイコンに移動させます。

メニュー画面で調整や切り換えを行なう

3 [ポイント] ボタンの上下でポインタを調整する項目のアイコンにに合わせます。

4 [SELECT] ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。

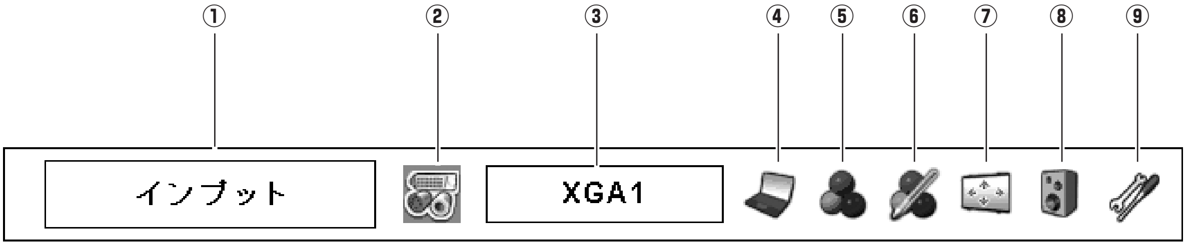
5 [ポイント] ボタンの左右で、調整や切り換えを行ないます。
それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。



※これ以降のページで、メニューバーや各項目のアイコンについての説明をするとき、“アイコン”を省略するときがあります。

メニューバー

コンピュータ画面のメニューバー



① **ガイドボックス**
オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。

② **インプットメニュー** ☞34ページ
「インプット（入力）1〜3」を切り換えます。

③ **システムボックス** ☞35ページ
コンピュータシステムを選択します。ボックス内の表示は選択中のコンピュータシステムです。

④ **PC調整メニュー** ☞36〜39ページ
お使いのコンピュータに合わせてシステムを調整し、カスタムモードに登録します。

⑤ **イメージ選択メニュー** ☞40ページ
コンピュータ画面のイメージモードを選択します。

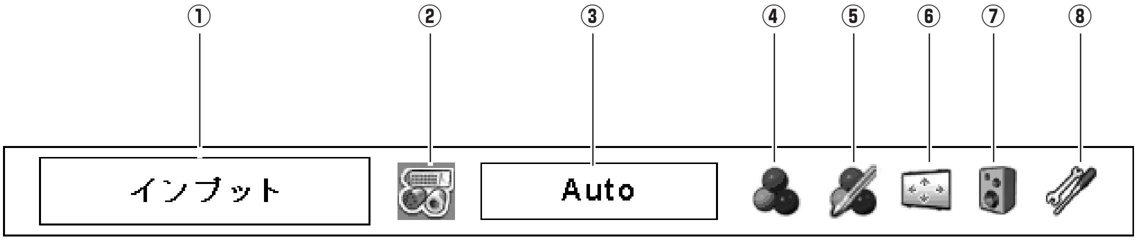
⑥ **イメージ調整メニュー** ☞47〜49ページ
コンピュータ画面のイメージをマニュアルで調整します。

⑦ **スクリーンメニュー** ☞41、42ページ
画面の大きさのモード設定をします。

⑧ **サウンドメニュー** ☞31ページ
音量の調節や消音の切換をします。

⑨ **セッティングメニュー** ☞50〜58ページ
プロジェクターの設定およびランプカウンターをリセットするメニューです。

ビデオ画面のメニューバー



① **ガイドボックス**
オンスクリーンメニューの選択中の項目を表示します。

② **インプットメニュー** ☞43ページ
「インプット（入力）1〜3」を切り換えます。

③ **システムボックス** ☞44ページ
カラーシステムまたは走査方式を選択します。

④ **イメージ選択メニュー** ☞45ページ
ビデオ画面のイメージモードを選択します。

⑤ **イメージ調整メニュー** ☞47〜49ページ
ビデオ画面のイメージをマニュアルで調整します。

⑥ **スクリーンメニュー** ☞46ページ
画面の大きさのモード設定をします。

⑦ **サウンドメニュー** ☞31ページ
音量の調節や消音の切換をします。

⑧ **セッティングメニュー** ☞50〜58ページ
プロジェクターの設定およびランプカウンターをリセットするメニューです。

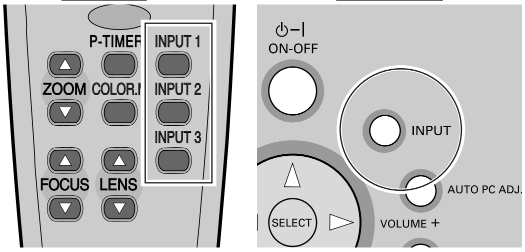
コンピュータ入力に切り換える

INPUTボタンで入力を切り換える

リモコンの［INPUT 1］ボタン、［INPUT 2］ボタン、または操作パネルの［INPUT］ボタンを押して、「インプット 1」または「インプット 2」を選択します。

入力切換 / INPUT ボタン

リモコン　　操作パネル



［INPUT］ボタンを押すごとに切り換わります。
※表示は約4秒間出ます。

インプットメニューで入力を切り換える

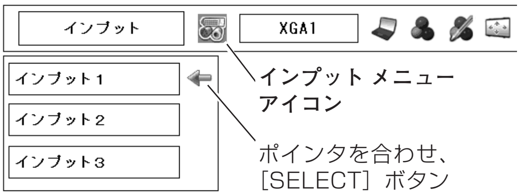
1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン下で、コンピュータ信号が入力されている端子（「インプット 1」または「インプット 2」）にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。
信号形式選択メニューが現れます。

※「インプット 3」はビデオ入力時に使用します。

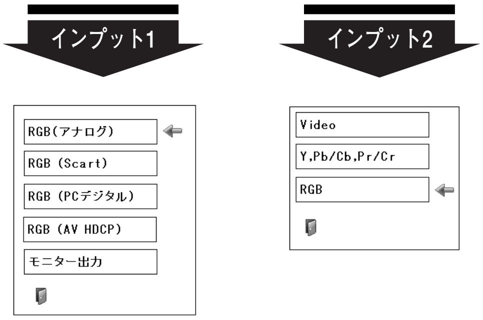
3 ポインタを希望する信号形式に合わせ、［SELECT］ボタンで選んで下さい。

インプット メニュー



インプット メニュー アイコン

ポインタを合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。



信号形式選択メニュー
ポインタを入力信号の種類に合わせ、［SELECT］ボタンを押して選択します。

インプット 1

［ANALOG IN/OUT（ミニD-sub15ピン）］端子にアナログ信号が入力されている場合は「RGB（アナログ）」を、［DIGITAL(DVI-D)］端子にデジタル信号が入力されている場合は「RGB（PC デジタル）」を選択します。
［DIGITAL(DVI-D)］端子にHDCP技術でコピープロテクトされたハイビジョン信号を接続したときは「RGB（AV HDCP）」を選択します。
「RGB（Scart）」は、［ANALOG IN/OUT（ミニD-sub15ピン）］端子にSCART 21ピン*ビデオ信号がに入力されている場合に選択します。

インプット 2

「RGB」を選択します。

［ANALOG IN/OUT］端子をモニター出力として使う

「インプット 1」の中で「モニター出力」を選択します。
［INPUT 2］に入力したRGB信号が出力されます。

また、［AUDIO IN/OUT］端子からは音声信号が出力されます。

＊ SCART 21ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子のRGB出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器のSCART 21ピン端子とプロジェクターの［ANALOG IN/OUT］を専用のケーブルで接続します。［ANALOG IN/OUT］で再生されるRGB SCART信号は、480i、575iのRGB信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

コンピュータシステムの選択

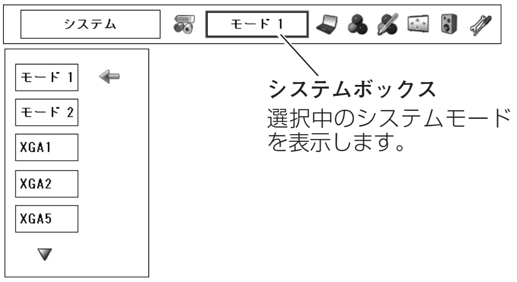
システムモードが自動選択されます

(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステム モード（VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・）を自動で選択しますので、ふだん特別な操作をせずにコンピュータ画面を投影することができます。
選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

※ システムボックスに、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー



● システムボックスに表示されるメッセージ ●

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投影されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。
☞37〜39ページ

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。☞14、21ページ
コンピュータの入力信号がデジタルの場合、以下の表示が出ます。☞67ページ

D-VGA ・ D-SVGA ・ D-XGA ...など

システムモードをマニュアルで選択するとき

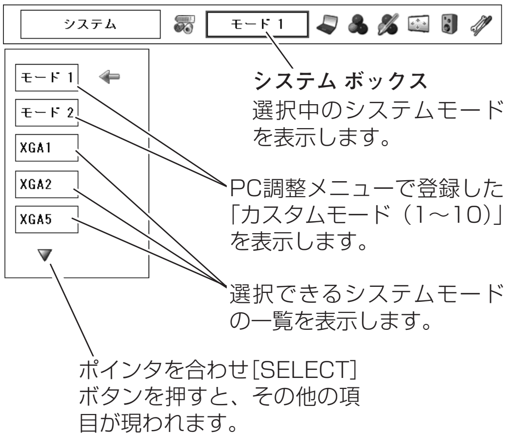
「カスタムモード※」を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。

2 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて［SELECT］ボタンで選んでください。

※ カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。 ☞37、38ページ

システムメニュー



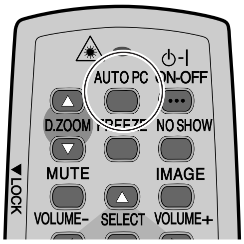
コンピュータシステムの調整

自動PC調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」の3項目を自動調整することができます。

リモコンのダイレクトボタンで調整する

リモコンの［AUTO PC］ボタンを押します。



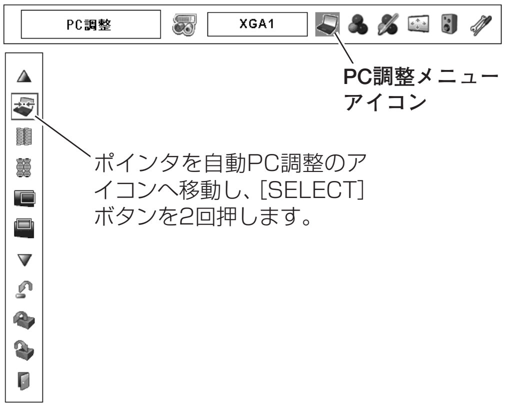
メニューから調整する

自動PC調整

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「PC調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン下でポインタをメニュー内に下ろします。「自動PC調整」にポインタを合わせて［SELECT］ボタンを2回押すとPC調整が開始します。

PC調整メニュー



※ 自動PC調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」を完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」に登録してください。☞37～39ページ
自動調整した内容を一度登録しておくと、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、37、38ページの「マニュアルPC調整の手順*3*」をごらんください。

※ コンピュータからの入力信号がデジタルの場合や、システムメニューで 480p、575p、480i、575i、720p、1035i、1080iのシステムモードが選択されているときは、自動PC調整機能ははたらきません。

マニュアルPC調整（「カスタムモード」を登録する）

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーの「システムボックス」に「自動PC調整」と表示され、画像が正しく投影されないときは、「PC調整」メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」を登録してください。登録した「カスタムモード」は、「システム」メニューで選択できます。「カスタムモード」は10個まで登録することができます。

※ 入力信号がデジタルのときは「PC調整」メニューは選択できません。

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「PC調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン下でポインタを調整したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

① ポインタを「リセット」に合わせ［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

③ ポインタが「PC調整」メニューの に移動します。

データ消去

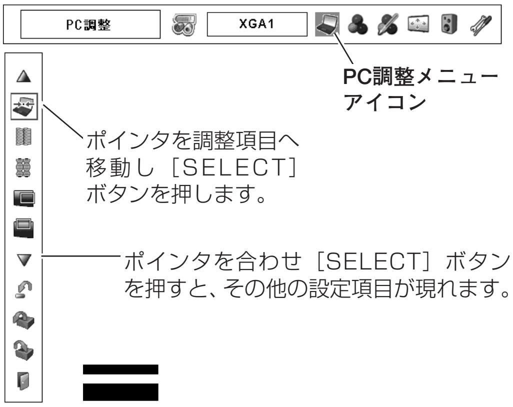
① ポインタを「データ消去」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「PC調整データ消去」メニューが現われます。

② 消去したいモード（「モード 1 から 10」 のいずれか）にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

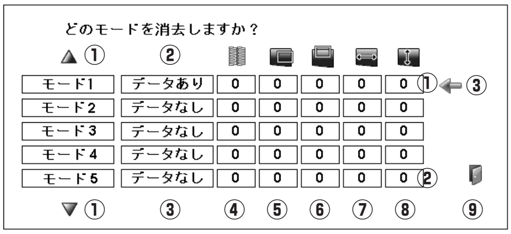
③「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、「カスタムモード」の登録が解除され、「PC調整データ消去」メニューへ戻ります。さらに、［SELECT］ ボタンを押すと「PC調整」メニューに戻ります。（ポインタは自動的に をさしています。）

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「PC調整データ消去」メニューへ戻ります。消去したいモードを選び直してください。

PC調整メニュー



PC調整データ消去メニュー



① 次ページへは①に③があるときは［ポイント］ボタン上を、②に③があるときは［ポイント］ボタン下を押します。
② カスタムモードが登録されています。
③ 何も登録されていません。
④ 総ドット数
⑤ 水平位置
⑥ 垂直位置
⑦ 画面領域 H
⑧ 画面領域 V
⑨ このメニューを閉じます。
［ポイント］ボタン右で選択し［SELECT］ボタンを押します。

手　順（3のつづき）

メモリー

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「PC調整データ登録」メニューが現われます。

② 登録したいモード（「モード 1 から 10」のいずれか）にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

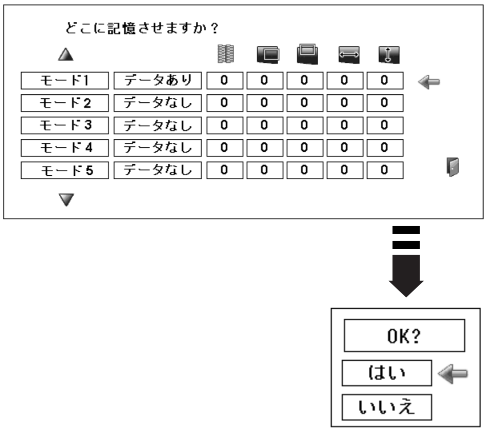
③「はい」を選択し［SELECT］ボタンを押すと、「カスタムモード」へ登録され「PC調整データ登録メニュー」へ戻ります。さらに、［SELECT］ボタンを押すと「PC調整」メニューに戻ります。（ポインタは自動的に をさしています。）

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「PC調整データ登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

戻る

メニューを終了します。

PC調整データ登録メニュー



項　目

トラッキング

トラッキング（同期）がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。（0から31まで）

※ コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

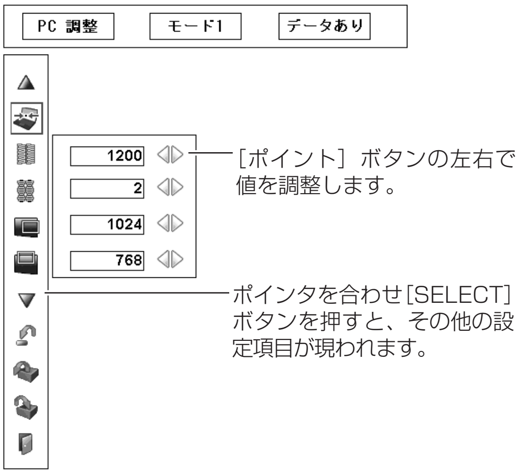
クランプ

クランプ位置を調整します。

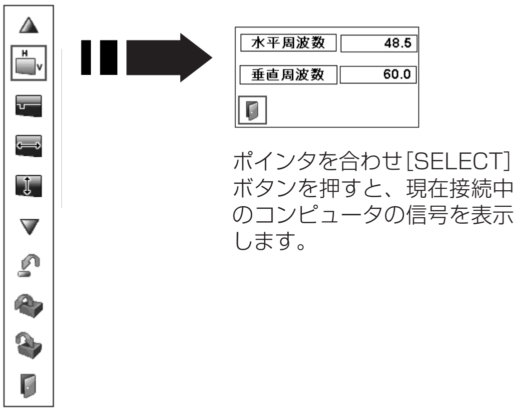
画面領域 H

水平解像度を調整します。［ポイント］ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

トラッキング



コンピュータ情報



画面領域 V

垂直解像度を調整します。［ポイント］ボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※ システムメニューで480p、575p、480i、575i、720p、1035i、1080iのシステムモードが選択されているときは、「トラッキング」「画面領域 H」「画面領域 V」の調整はできません。

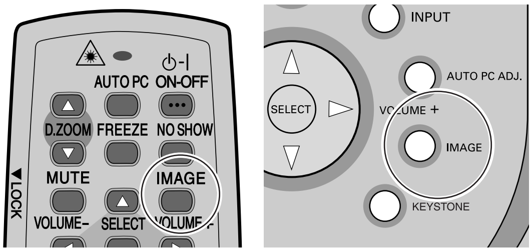
イメージの調整

[IMAGE] ボタンでイメージモードを選択する

リモコンまたは操作パネルの［IMAGE］ボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「リアル」「イメージ 1〜10」と切り換わります。

IMAGE ボタン

リモコン　　操作パネル



ボタンを押すごとに切り替わります。

※表示は約4秒間出ます。

※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

標　準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション、プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

このモードは中間階調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

イメージ 1〜10

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。

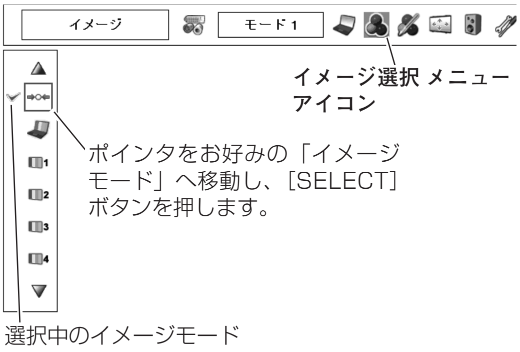
☞47ページ

「イメージ選択」メニューでイメージモードを選択する

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン下でポインタをメニュー内に下ろしてお好みの「イメージモード」に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

イメージ選択メニュー



標　準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション、プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

リアル

このモードは中間階調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

イメージ 1〜10

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。

☞47ページ

画面サイズを調整する

お好みにより、画面サイズを変えることができます。

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右で［ポインタ］を「スクリーン」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン下でポインタをメニュー内に下ろし、選択したい項目に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

項　目

ノーマル

画像を有効投影画面注) の高さに合わせて投影します。

リアル

画像をオリジナルサイズで投影します。

① 画像サイズが有効投影画面注) よりも小さいときは、画面の中央に投影し、画面左上に「リアル」の表示が現れます。

② 画像サイズが有効投影画面注) と同じときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れますが、その後「ノーマル」で投影されます。

③ 画像サイズが有効投影画面注) よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れ、画面の上下左右に△が表示されます。［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。

※ 「リアル」を選択しているとき、「デジタルズーム　＋・−」は選択することができません。

ワイド

画像を有効投影画面注) の幅に合わせ、アスペクト比横16 : 縦9のワイド画面で投影します。

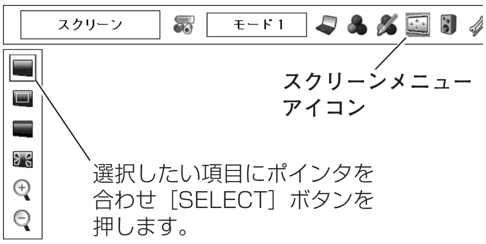
フル

アスペクト比、横4：縦3 のフルスクリーンサイズで投影します。
※ 「フルスクリーン」を選択しているとき、「デジタルズーム　＋・−」は選択することができません。

デジタルズーム＋

「デジタルズーム＋」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom ＋」表示が現われます。
［SELECT］ボタンを押すごとに画像が拡大します。
［ポイント］ボタンの上下左右で画像を移動させます。
画像の移動機能は、画像サイズが有効投影画面注) よりも大きいときのみはたらきます。
リモコンの［D.ZOOM ▲］ボタンを押しても画像の拡大ができます。

スクリーンメニュー



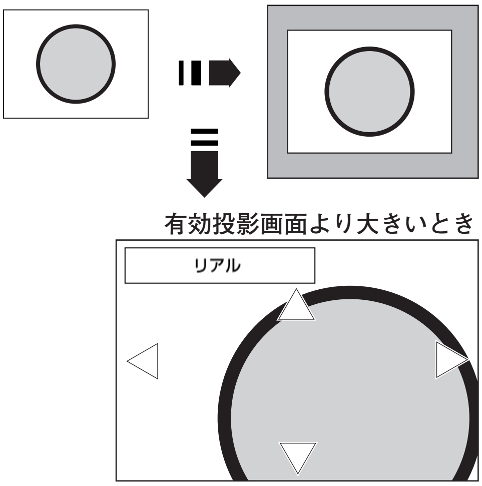
注) 1024x768 ドット

ノーマル

※ 表示は約4秒間出ます。

リアル

有効投影画面より小さいとき



※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。
※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

デジタルズーム ー

「デジタルズーム –」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom –」表示が現われます。
［SELECT］ボタンを押すごとに画像が縮小します。
リモコンの［D.ZOOM ▼］ボタンを押しても画像の縮小ができます。

※「デジタルズーム」モードから抜けるときは、［D.ZOOM、SELECT、ポイント、LASER 、リモコンの右クリック、ドラッグ］以外のボタンを押します。
※「システム」メニューで「720p、1035i、1080i50、1080i60」のシステムモードが選択されているときは、「スクリーン」メニューは機能しません。
※ システムメニューで480p、575p、480i、575iのシステムモードが選択されているときは、「リアル」と「デジタルズーム +/–」は選択できません。
※ XGA（1024x768ドット）以外の画像データは、有効投影画面（1024x768ドット）に合うように自動的に画像サイズが変換されます。（「ノーマル」、「ワイド」選択時）
※「PC調整」メニューでマニュアル調整したカスタムモードをコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム +」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらかないことがあります。

ビデオ入力に切り換える

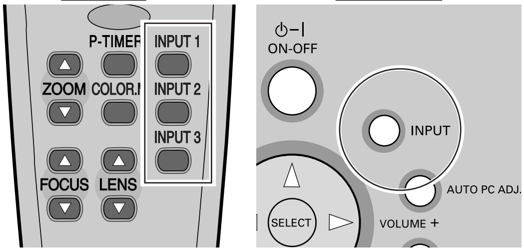
INPUTボタンで入力を切り換える

リモコンの［INPUT2、INPUT 3］ボタン、または操作パネルの［INPUT］ボタンを押して、「インプット 2」または「インプット 3」を選択します。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、「インプット」メニュー（☞下記）で正しい入力信号を選んでください。

入力切換 / INPUT ボタン

リモコン　　操作パネル



［INPUT］ボタンを押すごとに切り換わります。
※表示は約4秒間出ます。

インプットメニューで入力を切り換える

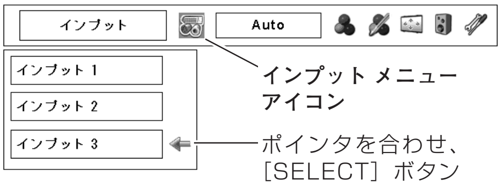
1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「インプット」メニューのアイコンに合わせます。

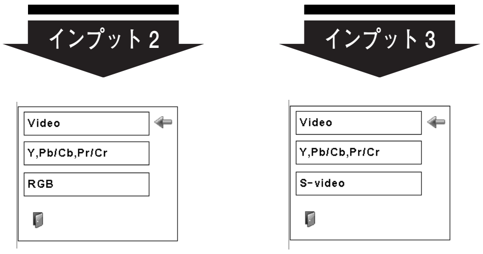
2 ［ポイント］ボタン下でポインタを信号が入力された端子（「インプット 2」または「インプット 3」）に合わせ、［SELECT］ボタンで選択すると信号選択メニューが現われます。
※「インプット 1」はコンピュータ入力時に使用します。

3 ポインタを入力信号の種類に合わせ、［SELECT］ボタンで選んでください。☞22ページ

※ ［INPUT 2］のBNC入力端子（VIDEO/Y,Pb/Cb,Pr/Cr）に接続したコンポジット映像信号（Video）またはコンポーネント映像信号（Y,Pb/Cb,Pr/Cr）を選択するときは、「Video」または「Y,Pb/Cb,Pr/Cr」のいずれかを選んでください。
※ ［INPUT 3］のRCA入力端子（VIDEO/Y,Pb/Cb,Pr/Cr）またはS-VIDEO端子に接続した、コンポジット映像信号（Video）、コンポーネント映像信号（Y,Pb/Cb,Pr/Cr）またはS-VIDEO信号を選択するときは、「Video」「Y,Pb/Cb,Pr/Cr」「S-Video」の中から正しい信号形式を選んでください。

インプット メニュー





信号選択メニュー (ビデオ)
ポインタを入力信号の種類に合わせ、［SELECT］ボタンで選んでください。

カラーシステムや走査方式を選択する

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「システムボックス」に合わせます。

2 ポインタを希望するカラーシステムまたは走査方式に合わせ、［SELECT］ボタンで選んでください。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto（自動）

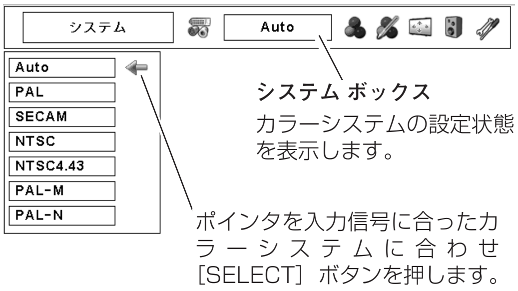
入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。

※「PAL-M」と「PAL-N」は、「Auto」に設定しても、システムは自動で選択されません。ポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押して選んでください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムはNTSCです。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

システム メニュー
(コンポジット映像またはS映像入力時)



R/Pr, G/Y, B/Pb 端子入力選択時

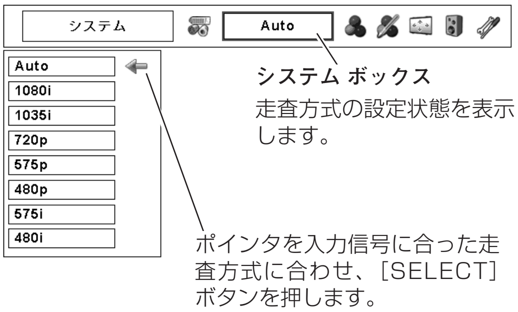
Auto（自動）

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、「1080i、1035i、720p、575p、480p、575i、480i」の中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー (コンポーネント映像入力時)



イメージの調整

[IMAGE] ボタンでイメージモードを選択する

リモコンまたは操作パネルの［IMAGE］ボタンを押すごとに、イメージモードが「標準」「シネマ」「イメージ 1〜10」と切り換わります。

標　準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション、プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

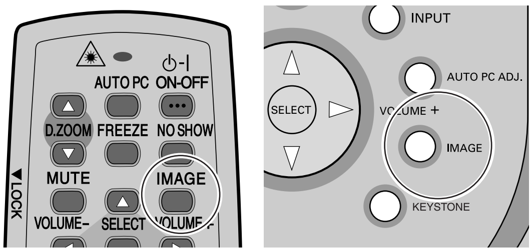
映画を見るときに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1〜10

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
☞47ページ

IMAGE ボタン

リモコン　　操作パネル



ボタンを押すごとに切り替わります。

※表示は約4秒間出ます。

※「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

「イメージ選択」メニューでイメージモードを選択する

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ選択」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン下でポインタをメニュー内に下ろしてお好みの「イメージモード」に合わせ、［SELECT］ボタンで決定します。

標　準

「コントラスト、明るさ、色温度、ホワイトバランス（赤/緑/青）、画質、ガンマ補正、ノイズリダクション、プログレッシブ」が、工場出荷時設定の標準値になります。

シネマ

映画を見るときに適した階調表現を重視した画質に設定します。

イメージ 1〜10

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
☞47ページ

イメージ選択メニュー

ビデオ入力

画面サイズを選択する

お好みにより、画面サイズを2種類の中から選択できます。

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「スクリーン」メニューのアイコンに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン下でポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。

スクリーンメニュー

スクリーンメニューアイコン

ポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

ノーマル

通常の映像のアスペクト比（横：縦）4：3で投影します。

ワイド

DVDプレヤー等のワイドモードで出力された映像信号をアスペクト比16：9のワイド画面で投影します。

※「システム」メニューで1080i、1035iまたは720pの信号（アスペクト比16：9）が選択されているときは、「スクリーン」メニューは機能しません。☞44ページ

マニュアルでイメージ調整を行なう

マニュアルでのイメージ調整は、コンピュータ入力・ビデオ入力のいずれでも行なうことができます。

手　順

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右でポインタを「イメージ調整」メニューに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン下でポインタをメニュー内におろして、調整したい項目に合わせ［SELECT］ボタンを押すと、その項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながら［ポイント］ボタンの左右で行ないます。

3 リセット

① ポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

②「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル（リセット）し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すとキャンセル（リセット）を中止することができます。

③ ポインタが「イメージ調整」メニューの に移動します。

メモリー

※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

① ポインタを「メモリー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「イメージ調整登録」メニューが現われます。

② 登録したいイメージモードにポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。

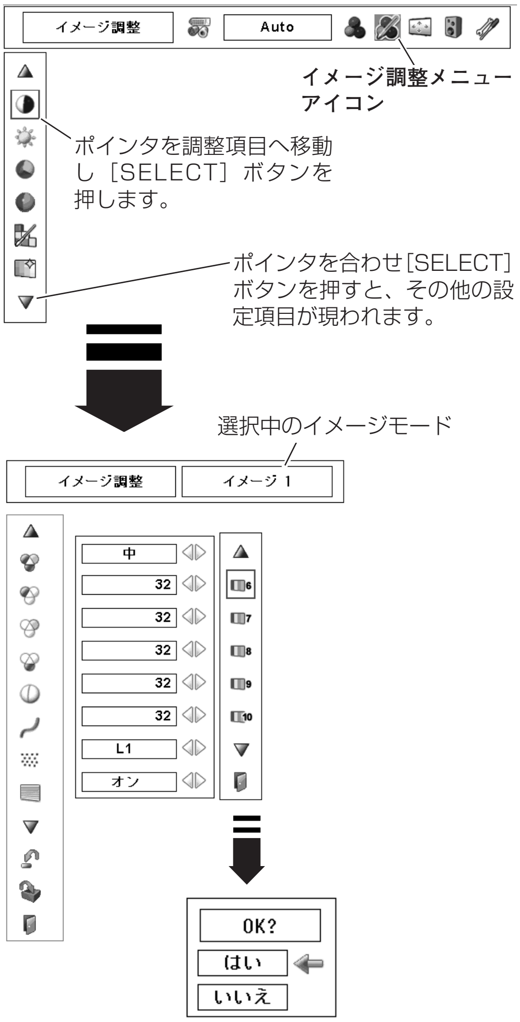
③「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと登録され、「イメージ調整登録」メニューへ戻ります。さらに、［SELECT］ ボタンを押すと「イメージ調整」メニューに戻ります。（ポインタは自動的に をさしています。）

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し［SELECT］ボタンを押すと「イメージ調整登録メニュー」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

戻る

メニューを終了します。

イメージ調整メニュー



イメージ調整登録メニュー
登録したいイメージモードにポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

項　目 ［ポイント］ボタンの左（◀ ）右（ ▶）で調整します。

コントラスト

◀ うすくなる　▶ こくなる（0～63）

明るさ

◀ 暗くなる　▶ 明るくなる（0～63）

色の濃さ*

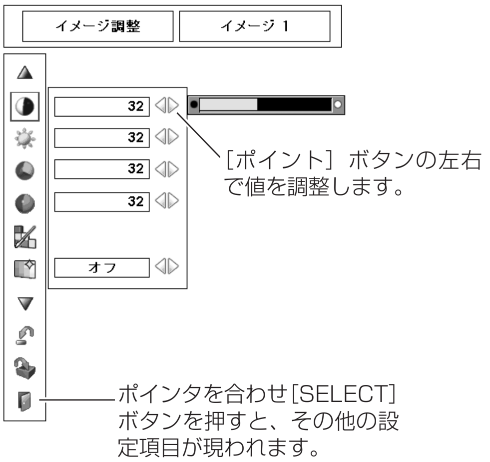
◀ うすくなる　▶ こくなる（0～63）

色合い*

◀ 紫がかる　▶ 緑がかる（0～63）

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。

イメージ調整メニュー



カラーマネージメント

投影している画像の色を、お好みの色に調整します。

1 ［SELECT］ボタンを押すと画像が静止して、無色のカーソルが画面中央に表示されます。

2 ［ポイント］ボタンの上下左右でカーソルを調整したい色の上に移動させ、［SELECT］ボタンを押すと、「COLOR SELECTION」メニューが現れます。

3 ［ポイント］ボタンの上下左右でカーソルを「COLOR」の中を移動させ、調整後に表示させたい色を選択し［SELECT］ボタンを押します。自動的に「GAMMA」調整に移動します。

4 ［ポイント］ボタンの上下で、調整後に表示させたい色を選択し［SELECT］ボタンを押します。自動的に「LIST」ボタンに移動します。

LIST ・・・・・「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示されます。

COLOR M. ・・調整を中止し無色のカーソルの表示まで戻ります。

MENU ・・・・カラーマネージメントモードから抜けます。

※ 項目を選んで［SELECT］ボタンを押すと、実行されます。

5 「LIST」ボタンを押すと「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示され、調整した色を保存することができます。

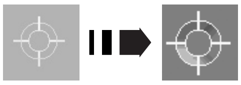
ALL DEL ・・・保存されたすべてのリストが削除されます。

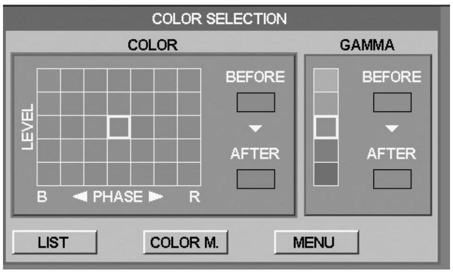
MENU ・・・・「COLOR MANAGEMENT」から抜け、「イメージ調整」メニューまで戻ります。

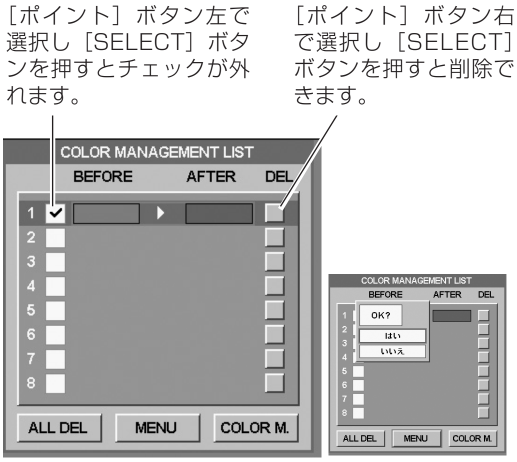
COLOR M. ・・調整を保存し、新たに無色のカーソルを表示され、調整を続けることができます。

※ 項目を選んで［SELECT］ボタンを押すと、実行されます。

カラーマネージメント







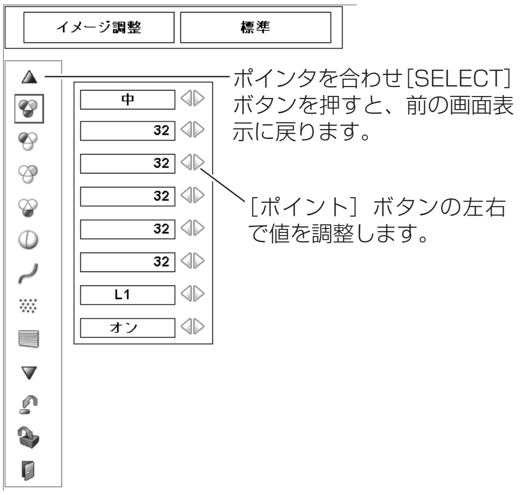
PCとビデオで合計8件の保存ができます。

自動画質補正

映像の暗い部分のコントラストを強調します。
［ポイント］ボタン右で、 オフ ➔ L1 ➔ L2 の順でより強く強調されます。
※ 工場出荷時は L1 に設定されています。

色温度

◀ 超低へ　▶ 高へ（超低ー低ー中ー高）
※ 超低（赤みがかる）〜高（青みがかる）
※ この項目を調整すると「ホワイトバランス」の調整値も変化します。
※「ホワイトバランス」（赤/緑/青のどれか1つでも）の調整をすると「調整中」と表示されます。



ホワイトバランス（赤/緑/青）

◀ うすくなる　▶ こくなる（各色0〜63）

画　質*

◀ やわらかい　▶ くっきり（0〜31）

ガンマ補正

［ポイント］ボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。（0〜15）

ノイズリダクション*

古いビデオやノイズの多い映像を見るとき、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。
L1 ・・・ノイズリダクション：弱
L2 ・・・ノイズリダクション：強

※ システムメニューで 480i、575i、1035i、1080i50、1080i60、480p、575p、720pの信号を選択しているときは、「ノイズリダクション」は選択できません。

ノイズリダクションの使い分け

ノイズリダクションを使用すると、動きの早い映像をみるとき、残像が発生することがあります。
・ 動きの早い映像（アクション映画など）のときは「L1」（弱）に設定する。
・ 動きの遅い映像のときは「L2」（強）に設定する。

プログレッシブ*

オフ ・・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。
オン ・・・・プログレッシブスキャンを「ON」にします。
フィルム ・・「3-2 プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投影するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。

※「プログレッシブ」は、システムモードが480i、575i、1035i、1080i50、1080i60のときのみ動作します。

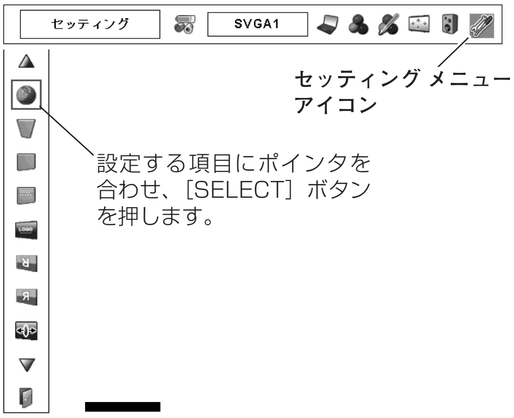
* コンピュータ入力で、
RGB（アナログ）、RGB（PCデジタル）、RGB（AV HDCP）の信号を選択しているとき、以下のメニューは調整できません。
「色の濃さ」「色合い」「画質」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」

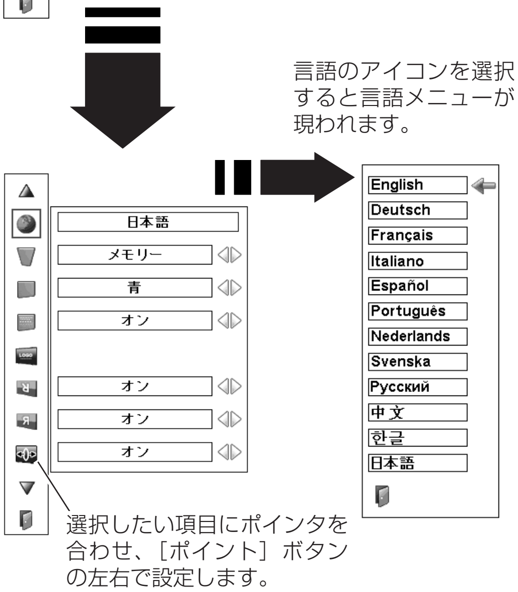
「セッティング」メニューで各種機能の設定をする

1 ［MENU］ボタンを押してメニューバーを出し、［ポイント］ボタンの左右方向でポインタを「セッティング」メニューのアイコンに合わせます。

2 ［ポイント］ボタン下でポインタを設定する項目のアイコンに合わせ、［SELECT］ボタンで選択します。
選んだ項目の設定画面が現われます。

セッティング メニュー





言　語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、韓国語、日本語の12か国語の中から選べます。

キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。［ポイント］ボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。

メモリー・・・キーストーン調整で補正した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。

リセット・・・キーストーン調整で補正した内容は、電源コードを抜くとリセットされます。

※ キーストーン調整の詳しくは、28ページをご覧ください。

バックグラウンド

信号のないときの背景画面（「黒/ユーザー/青」）を選択します。

※ 画像の再生前や中断時のノイズの画面を映さずに選択した画面を映します。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

オン・・・すべての画面表示を出します。

※ ある程度投影画面が明るくなってから、映像を映したいときに選択します。

カウントダウンオフ・・・ランプ点灯後30秒のカウントダウンを表示せず、すぐに投影します。

※ 投影画面が少し暗くても早く映像を映したいときに選択します。

オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。

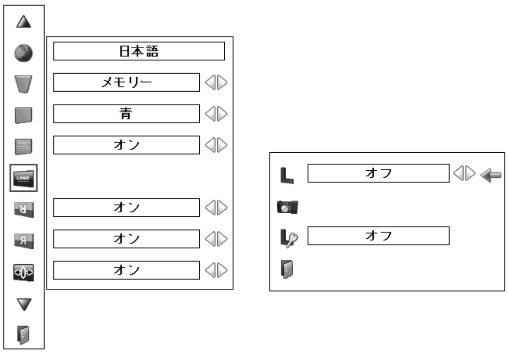
- メニューバー表示　☞33ページ
- 電源を切るときの、「もう1度押すと電源が切れます」の表示
- P-TIMER表示　☞29ページ
- 自動PC調整の「しばらくお待ち下さい」の表示
- パワーマネージメント時のタイマー表示 ☞26、54ページ
- カラーマネージメントのカーソル ☞48ページ

ロ　ゴ

ロゴ選択。画面のキャプチャー、ロゴ選択の暗証番号の設定をします。

※「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のとき、「ロゴ選択」と「キャプチャー」は設定できません。☞51ページ

ロゴ選択



ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択することができます。

ユーザー・・・キャプチャー機能で取り込んだ画像を表示します。

初期設定・・・工場出荷時の設定を表示します。

オフ・・・・・ロゴ表示を画面に出しません。

キャプチャー

投影している画面を取り込んで、スタートアップロゴにすることができます。
取り込んだ画像をスタートアップロゴにするときは、「ロゴ」機能で「ユーザー」を選択してください。（前ページ「ロゴ選択」参照）

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「キャプチャー」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、「はい」、「いいえ」の表示が現れます。

はい ・・・・画面の取り込みを始めます。

いいえ ・・・キャプチャー機能を取り消します。

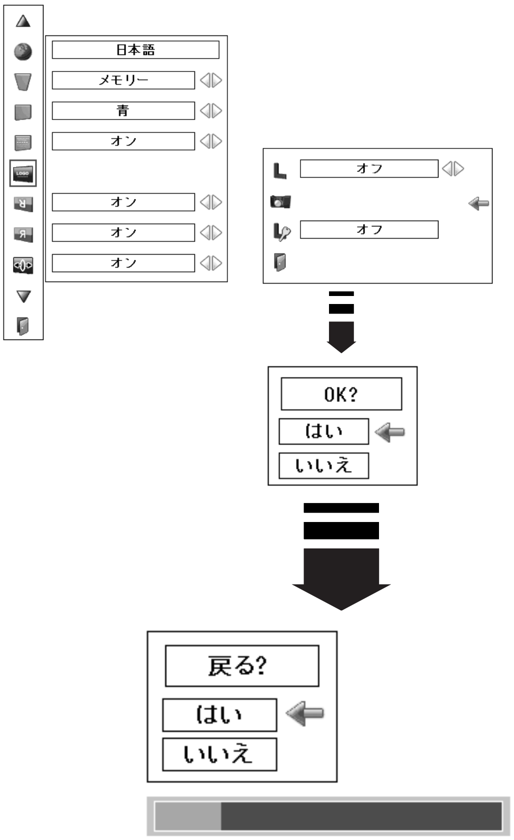
2 はい を選択すると、取り込みを始めます。
取り込みの進行を示すバーが現れます。
取り込みが完了するとメニュー表示は消えます。
このとき、取り込みを中止したいときは、バーの上にある「戻る？」の はい ＊ を選択し［SELECT］ボタン押します。

※「ユーザー」へ保存できるのは１画面のみです。
※ 適切な画面を取り込むために、イメージモードは標準を選択しておいてください。
※ 画像を取り込むときは「キーストーン」調整を一時的に解除します。
※ この機能が使えるのは以下の信号のときです。
コンピュータ・・・XGA以下（ただし、「画面領域」を1280 x 1024ドットなどに設定すると不可）
ビデオ・・・コンポジット、Sビデオ、480p、575p、480i、575i

ご注意＊

「戻る？」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」に保存していた画像の登録も削除されます。

キャプチャー



ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定・変更を暗証番号を持つ管理者以外できなくします。設定により以下のモードが選択できます。

オン ・・・暗証番号を入れないと「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更はできません。
オフ ・・・暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプチャー」の設定・変更ができます。

手　順

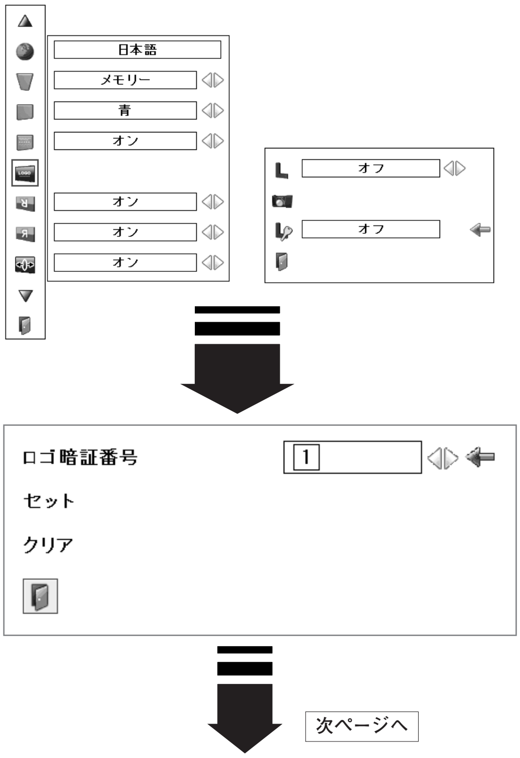
1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ロゴ暗証番号ロック」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、暗証番号を入力する画面が現れます。
※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号の入力画面は表示されます。

2 暗証番号を入力します。

3 暗証番号が承認されると、「ロゴ暗証番号」の「オン・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。
「オン・オフ」は［ポイント］ボタンの左右で切り替え、選択します。
暗証番号の変更は次ページを参照ください。

4 終了するときは、［ポイント］ボタン下でポインタを に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

ロゴ暗証番号ロック



次ページへ

暗証番号の入力方法

1 ［ポイント］ボタンの上下で「ロゴ暗証番号」を選択します。「ロゴ暗証番号」の最初のけたが選択されます。

2 ［ポイント］ボタンの左右で0～9の数字を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、数字の表示が「＊」に変わります。
これで１けた目が決定されました。
この操作を繰り返し、「＊」が4つ並んでいれば、4けた全ての数字が決定しています。

※ 工場出荷時の暗証番号は、「4321」です。
※ 数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタン下で「クリア」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「＊」が消え入力をやりなおすことができます。

3 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押すと「ロゴ暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。☞前ページ「手順*3*」

暗証番号を変更する

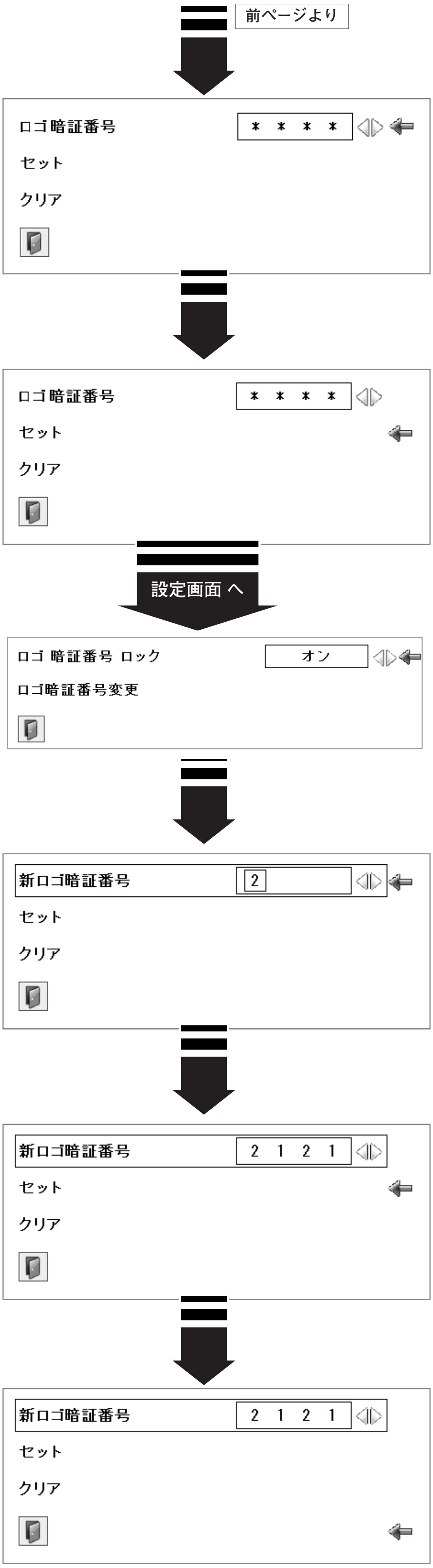
1 ［ポイント］ボタンの上下で「ロゴ暗証番号変更」を選択します。「新ロゴ暗証番号」の最初のけたが選択されます。

2 ［ポイント］ボタンの左右で0～9の数字を選択し、［SELECT］ボタンを押し、新しい4けたの暗証番号を入力・決定します。この操作を繰り返し、4けた全ての数字を決定します。

※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

3 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押すとポインタが自動的に に移動します。これで新しい暗証番号が登録されました。

このとき、［SELECT］ボタンを押すと、入力画面から抜けることができ、「ロゴ暗証番号ロック」メニューの画面まで戻ります。



メモ

- 入力を中断し、この機能を操作するのをやめるときは、［ポイント］ボタンの上下で を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「ロゴ暗証番号変更」メニューの画面まで戻ります。
- 数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタン下で「クリア」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、入力をやりなおすことができます。
- 以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
  - 「ロゴ暗証番号」と入力した数字(見た目は「＊」)とその枠が赤く表示された。
  - 「ロゴ暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。
  - 「新ロゴ暗証番号」と入力した数字とその枠が赤く表示された。
  - 「新ロゴ暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。

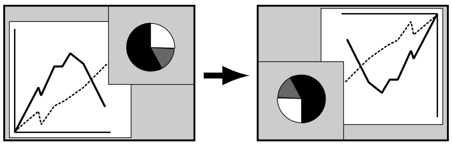
天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して映します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに設定します。

※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

天吊り機能

オフ (通常の画像)　　オン (天吊り設定時)

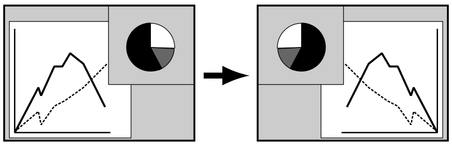


リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して映します。透過型スクリーンの後ろから投影するときに使います。

リア投映機能

オフ (通常の画像)　　オン (リア投映設定時)



アナモフィック

この機能を「オン」にすると入力信号がアスペクト比4：3の画面以外でも、強制的に4：3の画面で投影されます。

シンプルメニュー

「イメージ調整」で下記のメニューを選択するとすぐに調整バーを表示させる機能です。

オン ・・・以下のメニューに対応しています。☞48、49ページ

・コントラスト
・明るさ
・色の濃さ
・色合い
・ホワイトバランス（赤/緑/青）
・画質
・ガンマ補正

オフ ・・・シンプルメニューの機能を使用しません。

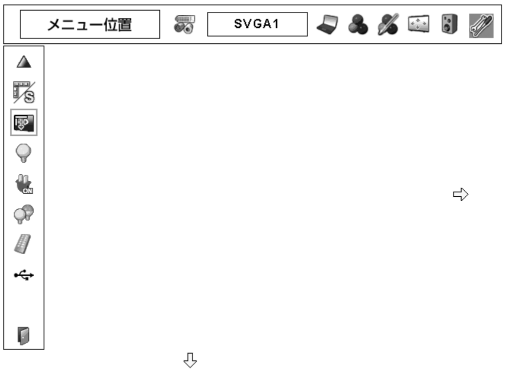
※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

メニュー位置

メニューが表示される位置を調整する機能です。［ポイント］ボタン右、下でお好みの位置に表示させることができます。

※ 約10秒間表示されます。
※ 最大まで移動すると矢印の色が赤に変わります。
※「P-TIMER」、「パワーマネージメント」のカウントダウン表示の表示位置は変えることができません。

メニュー位置



パワーマネージメント

パワーマネージメント機能の動作設定を行ないます。

オフ ・・・・・・ パワーマネージメント機能を解除します。

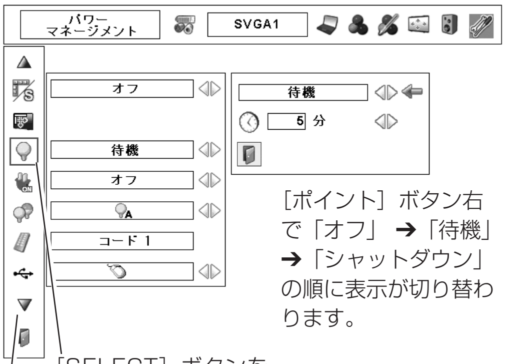
待機 ・・・・・・設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると［READY］インジケータが緑の点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投影されます。

シャットダウン ・・設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

タイマーの設定

- ［ポイント］ボタンの左右でパワーマネージメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1〜30分の範囲で設定できます。
- パワーマネージメント動作詳細については26ページを参照ください。

※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。
※ 「FREEZE（☞29ページ）」または、「NO SHOW（☞29ページ）」機能がはたらいているときは、パワーマネージメントは動作しません。
※ パワーマネージメントがはたらくと、「P-TIMER（☞29ページ）」はリセットされます。



［ポイント］ボタン右で「オフ」→「待機」→「シャットダウン」の順に表示が切り替わります。

［SELECT］ボタンを押して設定画面に入ります。

ポインタを合わせ［SELECT］ボタンを押すと、前の表示画面に戻ります。

ランプ消灯までの時間

オンスタート

電源コードを接続すると、リモコンや操作パネルの［ON-OFF］ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

オン ・・・電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

オフ ・・・通常の電源の入り・切りを行ないます。電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの［ON-OFF］ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

ランプコントロール

ランプの明るさを「ノーマルモード」、「オートモード」、「エコモード」の3段階で切り替え・選択することができます。
「エコモード」は、ランプの消費電力を抑えることができます。

明るい表示に「A」・・・**オートモード**

明るい表示・・・**ノーマルモード**

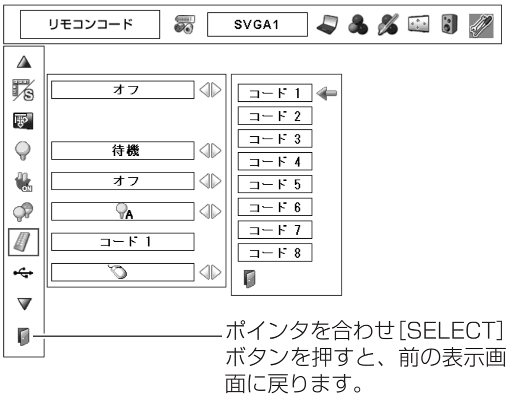
上部がグレーの表示・・・**エコモード**

※［ポイント］ボタン右で → → の順に表示が切り替わります。

※「オートモード」は調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。

リモコンコード

本機は8種類のリモコンコード（「コード1」～「コード8」）の設定が可能です。複数のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。
工場出荷時は「コード1」に設定されています。
リモコンコードを他のコード（「コード2～コード8」）に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り替える必要があります。
プロジェクターのリモコンコードを切り替えるにはメニューのリモコンコードを選択し、設定するリモコンコードを選択します。
リモコンのコードの切り替えは、リモコン本体で行ないます。
（☞17ページ「ディップスイッチの設定」）



USB

本機の［USB］端子にコンピュータのUSB端子を接続し、コンピュータと連結してプロジェクターを使用するときのUSB端子の機能選択を行ないます。［ポイント］ボタンで機能の選択を行ないます。

・・・ 本機のリモコンをコンピュータのマウスとして使用するときに選択します。

・・・ USB端子をプロジェクターの制御などに使用するときに選択します。
この機能は将来のために設けられているものです。
現時点ではご使用になれません。

※ 工場出荷時は「マウス」に設定されています。

セキュリティ

操作ボタンのロックと、暗証番号でプロジェクターの操作をロックする設定をします。

1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「セキュリティ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、項目を選択する画面が現れます。

2 ［ポイント］ボタンの上下で項目を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、設定画面が現れます。
※ 設定の詳細は、各項目を参照してください。

キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンをプロジェクターの鍵として使うこともできます。

・・・ 操作パネルからの操作をロックします。
・・・リモコンの操作をロックします。
・・・キーロックは「オフ」の状態です。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

※ 操作パネルをロックしてしまい、手元にリモコンがないときは、一度電源コードを抜いて、［SELECT］ボタンを押しながら、電源コードをさし、プロジェクターの電源を入れると、キーロックが解除されます。

「手順」は次ページ

次ページへ

詳細な設定

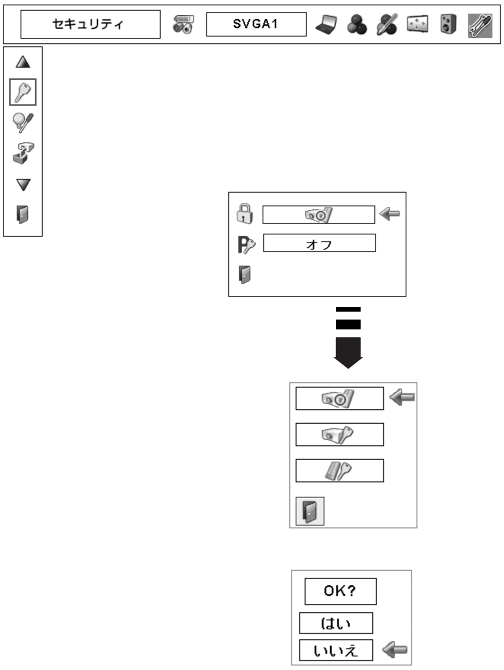
手　順

前ページ「*1*〜*2*」に続いて、

3 ポインタをいずれかに合わせ、［SELECT］ボタンを押すと「OK？」の表示が現れます。

4 「はい」を選択し［SELECT］ ボタンを押すと、登録が完了し、設定画面へ戻ります。
※「いいえ」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと、選択画面に戻ります。設定する項目を選び直してください。

キーロック



暗証番号ロック

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外のプロジェクターの操作を防止します。設定により以下のモードが選択できます。

オフ ・・・「暗証番号ロック」を解除します。通常の操作をすることができます。

オン1 ・・・電源を入れるときに暗証番号が要求されます。

オン2 ・・・一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。一度電源コードを抜くと、その次に電源を入れるときに暗証番号が要求されます。［ON-OFF］ボタンで電源の入り・切りをするだけで、電源コードを抜かないときは、暗証番号が要求されることなく、通常の操作をすることができます。

手　順

前ページ「*1*〜*2*」に続いて、

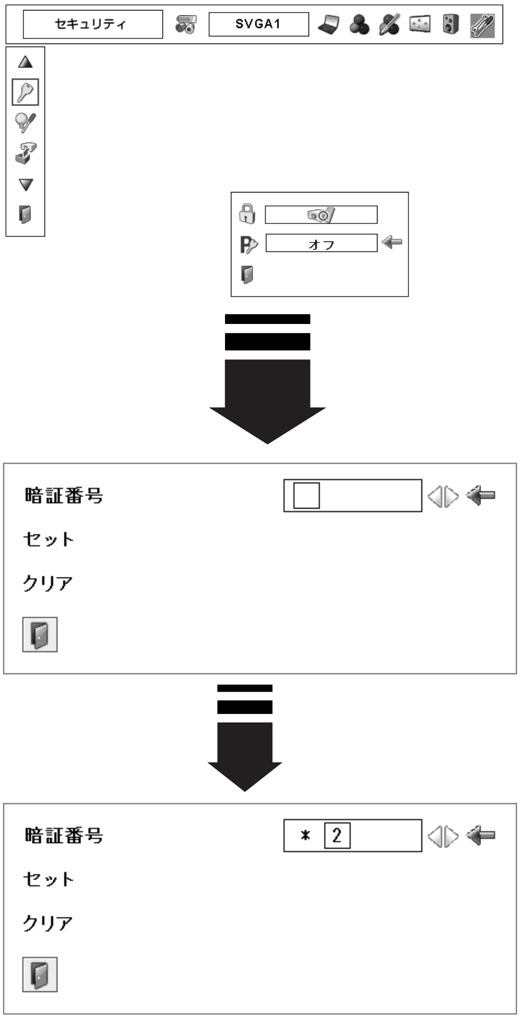
3 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「暗証番号ロック」に合わせ、［SELECT］ボタンを押すと暗証番号を入力する画面が現れます。

4 暗証番号を入力します。
※ 次ページ「暗証番号の入力方法」を参照ください。

5 暗証番号が承認されると、「暗証番号」の「オン1・オン2・オフ」の設定と、暗証番号の変更ができる画面が現れます。
「オン1・オン2・オフ」は［ポイント］ボタンの左右で切り替え、選択します。
暗証番号の変更は次ページを参照ください。

6 終了するときは、［ポイント］ボタン下でポインタを に移動し、［SELECT］ボタンを押します。

暗証番号ロック



次ページへ

暗証番号の入力方法

1 ［ポイント］ボタン上下で「暗証番号」を選択します。
「暗証番号」の最初のけたが選択されます。

2 ［ポイント］ボタンの左右で0～9の数字を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、数字の表示が「＊」に変わります。
これで１けた目が決定されました。
この操作を繰り返し、「＊」が4つ並んでいれば、4けた全ての数字が決定しています。

※ 工場出荷時の暗証番号は、「1234」です。
※ 数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタン下で「クリア」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「＊」が消え入力をやりなおすことができます。

3 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押すと「暗証番号ロック」の選択メニューが表示されます。☞前ページ「手順**5**」

メモ

数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタン下で「クリア」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「＊」が消え、入力をやりなおすことができます。
※ 以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
・「暗証番号」と入力した数字(見た目は「＊」)とその枠が赤く表示された。
・「暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。

暗証番号を変更する

1 ［ポイント］ボタン上下で「暗証番号変更」を選択します。
「新暗証番号」の最初のけたが選択されます。

2 ［ポイント］ボタンの左右で0～9の数字を選択し、［SELECT］ボタンを押し、新しい4けたの暗証番号を入力・決定します。
この操作を繰り返し、4けた全ての数字を決定します。

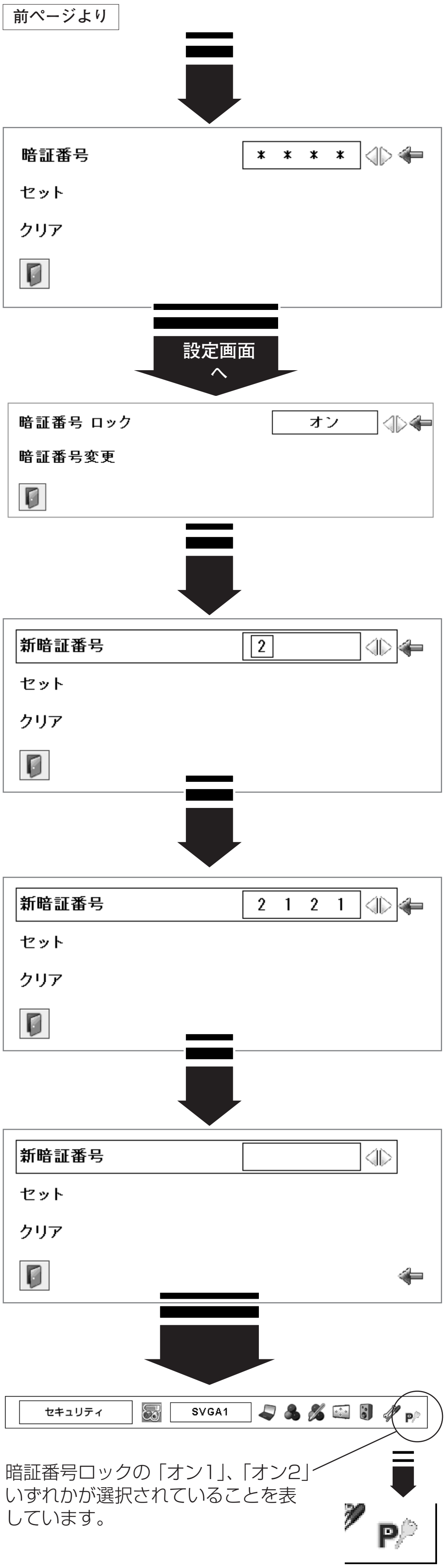
※ このときは決定した数字も見えています。変更後の数字をはっきり確認していただけるように、数字を見せています。

3 4けた全てが決定すると、ポインタが自動的に「セット」に移動します。［SELECT］ボタンを押すとポインタが自動的に に移動します。これで新しい暗証番号が登録されました。

※ このとき、［SELECT］ボタンを押すと、入力画面から抜けることができ、「暗証番号ロック」メニューの画面まで戻ります。

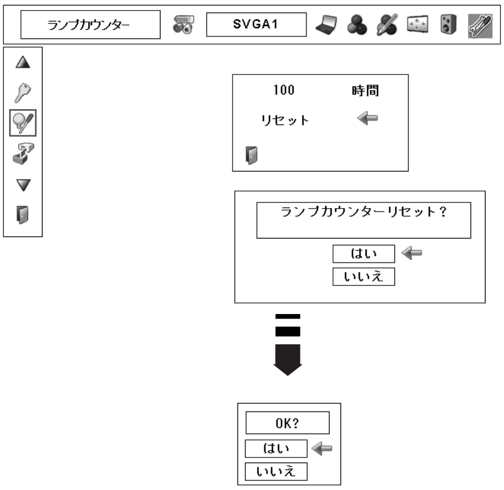
メモ

・入力を中断し、この機能を操作するのをやめるときは、［ポイント］ボタンの上下で を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、「暗証番号ロック」の画面まで戻ります。
・数字の入力をやりなおしたいときは、［ポイント］ボタン下で「クリア」を選択し、［SELECT］ボタンを押すと、入力をやりなおすことができます。
・以下のようなときは、エラーを表しています。入力をやりなおしてください。
　・「新暗証番号」と入力した数字とその枠が赤く表示された。
　・「新暗証番号」と入力する枠が赤く表示された。



暗証番号ロックの「オン1」、「オン2」いずれかが選択されていることを表しています。

ランプカウンター



ランプカウンター（点灯時間）をリセットします。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ(黄)の点灯が消えます。

> ⚠ **注意** ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

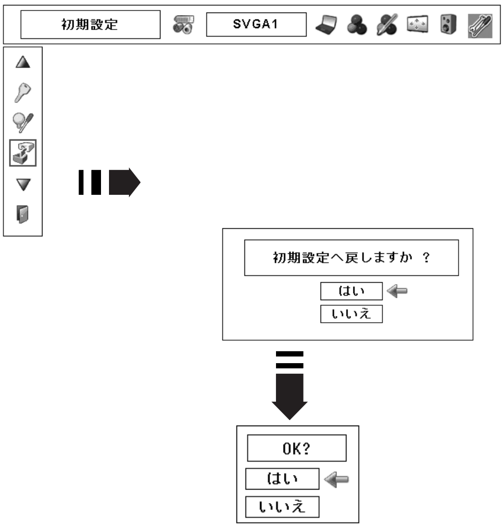
1 ［ポイント］ボタンの上下でポインタを「ランプカウンター」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

2 ランプの使用時間と、カウンターをリセットする項目が現れます。［ポイント］ボタンの上下でポインタを「リセット」に合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

4 さらに、「OK？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

初期設定



下記の設定以外を、工場出荷状態に戻します。
- ランプカウンター（点灯時間）
- 暗証番号ロック
- 暗証番号ロック暗証番号
- ロゴ暗証番号ロック
- ロゴ暗証番号
- ロゴ選択
- ユーザーロゴ
- NETWORK(別売品に付属の説明書でご確認ください)

※ この設定は電源コードを抜いても有効です。

ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

1 ［ポイント］ボタンの上下で「初期設定」にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

2 「初期設定へ戻しますか？」が現われますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。

3 さらに、「OK？」の表示が現れますので、［ポイント］ボタンの上下で はい にポインタを合わせ、［SELECT］ボタンを押します。設定が工場出荷時に戻ります。

リモコンでコンピュータを操作する

付属のリモコンはコンピュータのワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。コンピュータマウスの代わりにリモコンでポインタを操作することができます。

準備をしてください

リモコンをワイヤレスマウスとして使用するには、マウスドライバが必要です。お使いのコンピュータにマウスドライバがインストールされていることを確認してください。
また、はじめにコンピュータの環境設定でマウスポート※注1が、マウスコントロールケーブル (付属または別売) を接続するポートに設定してあることを確認してください。

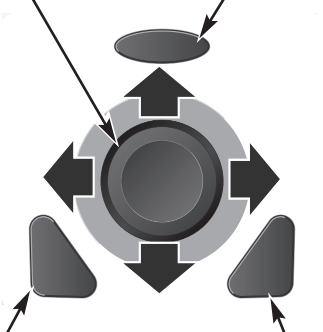
1. 付属または別売のマウスコントロールケーブルで、コンピュータのマウスポート (または USB ポート) と、本機の［CONTROL PORT］端子 (または［USB］端子) を接続します。※注2 ☞14、21ページ
2. マウスコントロールケーブルを接続したら、はじめにプロジェクターの電源を入れてからコンピュータの電源を立ち上げてください。先にコンピュータの電源を立ち上げると正しく動作しない場合があります。

※注1：マウスポートは、コンピュータのマウスを接続する端子です。設定のしかたは、お使いになるコンピュータの説明書を参照してください。

※注2：一部のコンピュータでマウスポートのないものは、シリアル用マウスコントロールケーブルを使ってシリアルポートに接続します。
USB端子付きのコンピュータでUSBマウスをお使いの場合は、付属のUSBケーブルでコンピュータと本機の［USB］端子を接続します。

マウスポインタの動かし方

マウスポインタの操作は、リモコンの「ポイントボタン」「左クリックボタン」「右クリックボタン」で行ないます。



ポイントボタン

マウスポインタの移動を行ないます。［ポイント］ボタンの上下左右を押すと、マウスポインタが移動します。

左クリックボタン

コンピュータマウスの左クリックのはたらきをします。
ドラッグするときは、このボタンを押したまま［ポイント］ボタンで移動させます。

右クリックボタン

コンピュータマウスの右クリックのはたらきをします。

ドラッグ ON / OFF ボタン

ドラッグしたい画像にマウスポインタをあわせ、［ドラッグ ON/OFF］ボタンを押します。(［ドラッグオン］インジケータが緑に点灯し、ドラッグ機能が「ON」の状態になります)［ポイント］ボタンを使って、画像を移動させます。再度［ドラッグ ON/OFF］ボタンを押すか、他のボタンを押してドラッグ機能を解除します。

その他

ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。［LAMP REPLACE］インジケータ（黄）が点灯した場合は、ランプをすみやかに交換してください。ランプカウンターをリセットするまで電源「ON 」（入）のときに点灯します。なお［LAMP REPLACE］インジケータが点灯する前にランプの寿命が尽きる場合もあります。

ランプの交換のしかた

ランプを交換するときは必ず指定の交換ランプをご使用ください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

・交換ランプの品番： POA-LMP101 (サービス部品コード：610 328 7362)
・プロジェクターの品番： LC-X71D / LC-X71DL

> ⚠ 注意
> **動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上放置してから行なってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをする恐れがあります。**

1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上放置してください。

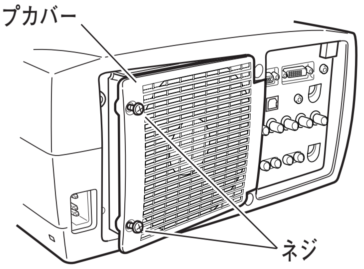
2 (+)ドライバーで2本ネジをゆるめて、ランプカバーを開けます。

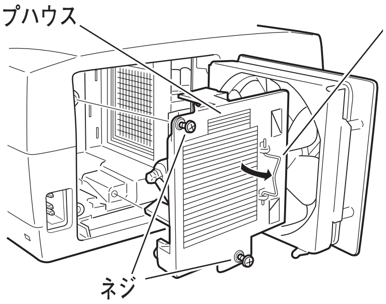
3 ランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。

4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、ハンドルを倒し、2本のネジを締めて固定します。

5 ランプカバーを閉め、ネジを締めて固定します。

※ ランプに衝撃を加えたり傷つけたりすると、使用中に破裂する場合がありますので、注意してお取り扱いください。
※ 使用済みランプの再利用はランプ破裂の原因となりますのでおやめください。





ガラス面およびランプ部分を手で触らないでください。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ず「ランプカウンター」をリセットしてください。リセットすると［LAMP REPLACE］インジケータ(黄)の点灯が消えます。
ランプカウンターのリセットのしかたは、58ページの「ランプカウンター」を参照してください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ダストカバーをかぶせて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン･シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナー (カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー) で行なってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。(掃除のしかたは 次ページを参照)

エアフィルターはこまめに掃除してください

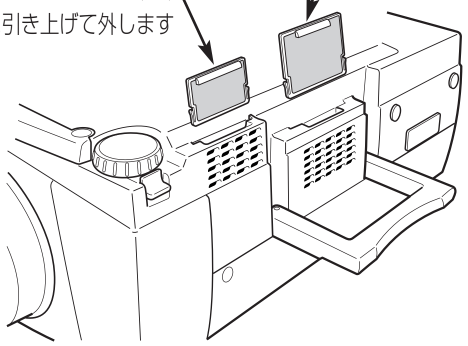
エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルターや吸気口は、こまめに掃除してください。☞10ページ

1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行なってください。

2 プロジェクターを裏返します。エアフィルターを上に引き上げて外します。

3 エアフィルターのホコリをブラシなどで取ります。

4 エアフィルターを取り付けます。



掃除の目安

一般的に約200時間ご使用になるたびにエアフィルターを掃除してください。

※ ご使用の環境や、ご使用時間によってエアフィルターの汚れは変わりますが、こまめに掃除することをおすすめします。

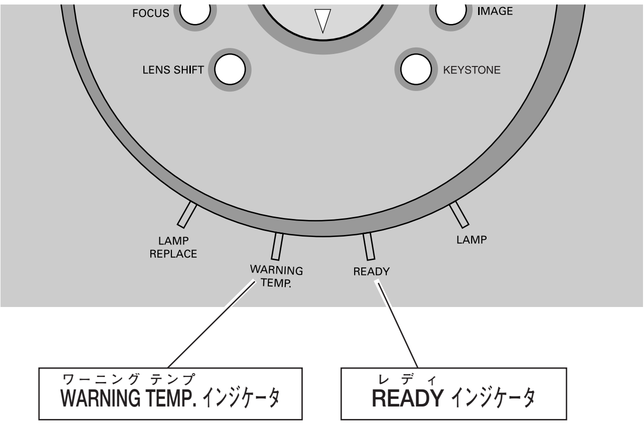
シートの汚れがひどいときは、掃除機などでホコリを取りのぞいてください。(水洗いはしないでください)
それでも汚れが取れないときや、シートが古くなったときには新しいものと交換してください。取り替え用シート(別売)についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

取り替え用 エアフィルター前（小） の品番： AF-1000S
取り替え用 エアフィルター後（大） の品番： AF-1000L

⚠ お掃除の際にご注意ください

- エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部の温度上昇について



WARNING TEMP. インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると［WARNING TEMP.］インジケータ（赤）が点滅を始め内部温度が高くなっていることをお知らせします。さらに温度が高くなるとプロジェクター保護のために自動的に電源が切れ、［READY］インジケータが消えます。（［WARNING TEMP.］インジケータは点滅を続けます）温度が下がると［READY］インジケータが点灯し、リモコンおよび本体の［ON-OFF］ボタンで電源を入れることができます。電源を入れると［WARNING TEMP.］インジケータの点滅が消えます。［WARNING TEMP.］インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

・ 底面のエアフィルターにホコリがたまっていませんか。フィルターを掃除してください。
・ 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。（使用温度範囲：5℃～35℃）
・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

プロジェクターの電源が切れ、WARNING TEMP. と READY インジケータが点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、［WARNING TEMP.］と［READY］インジケータが点滅を始めます。このとき、リモコンおよび本体の［ON-OFF］ボタンでの電源入り切りはできなくなります。このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れ直し、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、［WARNING TEMP.］と［READY］インジケータが点滅する場合、プロジェクターの点検を取扱販売店、または修理相談窓口にご依頼ください。電源コードをコンセントに接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。
また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行なってください。

インジケータの名称と点灯状態				プロジェクターの状態
LAMP REPLACE 黄	WARNING TEMP. 赤	READY 緑	LAMP 赤	
●（消灯）	●（消灯）	●（消灯）	●（消灯）	電源コードがコンセントから抜けています。
※	●（消灯）	○（点灯）	○（点灯）	プロジェクターはスタンバイ状態です。［ON-OFF］ボタンを押すと動作します。
※	●（消灯）	○（点灯）	暗く点灯	プロジェクターは正常に動作しています。
※	点滅	●（消灯）	○（点灯）	プロジェクターの内部温度が高くなると［WARNING TEMP.］インジケータが点滅を始めます。さらに温度が高くなると［READY］インジケータが消え、自動的に電源が切れ、電源が入らなくなります。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、［READY］インジケータが点灯し、電源が入れられます。（［WARNING TEMP.］インジケータは点滅したままです。）エアフィルターの点検などを行なってください。
※	点滅	○（点灯）	○（点灯）	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。［ON-OFF］ボタンを押すと、［WARNING TEMP.］インジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行なってください。
※	●（消灯）	●（消灯）	○（点灯）	ランプの冷却中です。［READY］インジケータが点灯するまで、電源を入れることはできません。
点滅	点滅	点滅	○（点灯）	プロジェクターの内部に異常が検出されました。［ON-OFF］ボタンを入れても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理を修理相談窓口へご依頼ください。点灯したままで放置しないでください。火災や感電の原因となります。
※	●（消灯）	点滅	暗く点灯	「パワーマネージメントモード」になっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。

○・・・点灯　（点滅記号）・・・点滅　（灰色）・・・暗く点灯　●・・・消灯

※・・・［LAMP REPLACE］インジケータが点灯するとランプの寿命です。（正常時は消灯）すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。（58ページ参照）

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、つぎのことをお確かめください。

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
電源が入らない	● 電源コードは接続されていますか。 ● 電源は入っていますか。［ON-OFF］ボタンを押してみてください。 ● ［READY］インジケータが消えているときは、［ON-OFF］ボタンを押しても電源が 入りません。 ● ［WARNING TEMP.］インジケータが赤く点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、［READY］インジケータが消えているときは、［ON-OFF］ボタンを押しても保護のため電源は入りません。温度が 下がるまでお待ちください。 ● 「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンの［ON-OFF］ボタンを押してみてください。	24、26、64 63、64 55
画像が映らない	● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 電源を入れたあと、約30秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。（「オンスクリーン表示・オフ」のときをのぞく） ● レンズキャップをとりましたか。 ● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。 ● 使用温度範囲（5℃～35℃）からはずれていませんか。 ● 「NO SHOW」モードになっていませんか。リモコンまたは操作パネルのボタン（どれでも）を押してみてください。 ● コンピュータの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なってください。設定方法はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。	14、21、22 24 35、44
音が出ない	● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。 ● 音量が最小になっていませんか。［VOLUME ＋］ボタンを押してみてください。 ● 消音状態になっていませんか。［MUTE］ボタンを押すか、［VOLUME ＋］ボタンを押してみてください。 ● 「スピーカ」が「オフ」になっていませんか。「サウンド」メニューの「スピーカ」を確認してみてください。 ● 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していませんか。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してください。	14、21、22 31
画像が不鮮明	● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。 ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。 ● スクリーンに対して過度に斜めに投影しているときは、画面に台形ひずみ (あおり) ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。 ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。	27 19 20
映像が左右（上下）逆さまに映っている	● 「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	53
表示されないメニューがある	● 「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「セッティング」を確認してください。	50
リモコンで操作できない	● 電池は正しく入っていますか。＋－を正しく入れてください。 ● 電池がなくなっていませんか。新しい電池と交換してください。 ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。 ● リモコンの［ALL OFF］スイッチが、［ALL OFF］側になっていませんか。「ON」側にして操作してください。 ● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。 ● 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」を確認してください。	18 18 18 18 16 17、55 55
コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	● マウスコントロールケーブルは正しく接続されていますか。 ● 接続するコンピュータにマウスドライバがインストールされていますか。ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。 ● 一旦電源を切り、プロジェクターの電源を先に入れてから、コンピュータを立ち上げてみてください。	21 59
電源を入れたら、暗証番号を要求された	● 「暗証番号ロック」が設定されています。登録した（または工場出荷時の）暗証番号を入力してください。解除、または設定の変更は「セッティング」の「暗証番号ロック」を確認してください。	56、75

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(「カスタムモード 1～5」は含みません。)
接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
VGA 1	640x480	31.47	59.88
VGA 2	720x400	31.47	70.09
VGA 3	640x400	31.47	70.09
VGA 4	640x480	37.86	74.38
VGA 5	640x480	37.86	72.81
VGA 6	640x480	37.50	75.00
VGA 7	640x480	43.27	85.00
MAC LC13	640x480	34.97	66.60
MAC 13	640x480	35.00	66.67
480p	640x480	31.47	59.88
575p	768x575	31.25	50.00
575i	インターレース	15.63	50.00
480i	インターレース	15.73	60.00
SVGA 1	800x600	35.16	56.25
SVGA 2	800x600	37.88	60.32
SVGA 3	800x600	46.88	75.00
SVGA 4	800x600	53.67	85.06
SVGA 5	800x600	48.08	72.19
SVGA 6	800x600	37.90	61.03
SVGA 7	800x600	34.50	55.38
SVGA 8	800x600	38.00	60.51
SVGA 9	800x600	38.60	60.31
SVGA 10	800x600	32.70	51.09
SVGA 11	800x600	38.00	60.51
MAC 16	832x624	49.72	74.55
XGA 1	1024x768	48.36	60.00
XGA 2	1024x768	68.68	85.00
XGA 3	1024x768	60.02	75.03
XGA 4	1024x768	56.48	70.07
XGA 5	1024x768	60.31	74.92
XGA 6	1024x768	48.50	60.02
XGA 7	1024x768	44.00	54.58
XGA 8	1024x768	63.48	79.35
XGA 9	インターレース	36.00	87.17
XGA 10	1024x768	62.04	77.07
XGA 11	1024x768	61.00	75.70
XGA 12	インターレース	35.52	86.96
XGA 13	1024x768	46.90	58.20
XGA 14	1024x768	47.00	58.30
XGA 15	1024x768	58.03	72.00
MAC 19	1024x768	60.24	75.08
SXGA 1	1152x864	64.20	70.40

システムモード	解像度	水平周波数(KHz)	垂直周波数(Hz)
SXGA 2	1280x1024	62.50	58.60
SXGA 3	1280x1024	63.90	60.00
SXGA 4	1280x1024	63.34	59.98
SXGA 5	1280x1024	63.74	60.01
SXGA 6	1280x1024	71.69	67.19
SXGA 7	1280x1024	81.13	76.11
SXGA 8	1280x1024	63.98	60.02
SXGA 9	1280x1024	79.98	75.03
SXGA 10	1280x960	60.00	60.00
SXGA 11	1152x900	61.20	65.20
SXGA 12	1152x900	71.40	75.60
SXGA 13	インターレース	50.00	86.00
SXGA 14	インターレース	50.00	94.00
SXGA 15	1280x1024	63.37	60.01
SXGA 16	1280x1024	76.97	72.00
SXGA 17	1152x900	61.85	66.00
SXGA 18	インターレース	46.43	86.70
SXGA 19	1280x1024	63.79	60.18
SXGA 20	1280x1024	91.15	85.02
SXGA 21	1400x1050	63.90	60.00
SXGA+ 1	1400x1050	63.97	60.19
SXGA+ 2	1400x1050	65.35	60.12
SXGA+ 3	1400x1050	65.12	59.90
MAC 21	1152x870	68.68	75.06
MAC	1280x960	75.00	75.08
MAC	1280x1024	80.00	75.08
WXGA 1	1366x768	48.36	60.00
WXGA 2	1360x768	47.70	60.00
WXGA 3	1376x768	48.36	60.00
WXGA 4	1360x768	56.16	72.00
UXGA 1	1600x1200	75.00	60.00
UXGA 2	1600x1200	81.25	65.00
UXGA 3	1600x1200	87.50	70.00
UXGA 4	1600x1200	93.75	75.00
720p	1280x720	45.00	60.00
720p	1280x720		50.00
1035i	インターレース	33.75	60.00
1080i/60	インターレース	33.75	60.00
1080i/50	インターレース	28.125	50.00
1080i	インターレース	33.75	60.00
1080i	インターレース	28.125	50.00

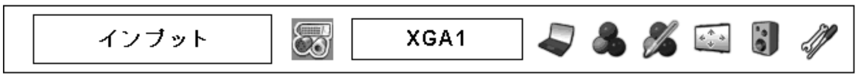
コンピュータの信号がデジタルの場合

DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード	解像度	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）	システムモード	解像度	水平周波数（KHz）	垂直周波数（Hz）
D-VGA	640x480	31.47	59.94	D-SXGA 2	1280x1024	60.276	58.07
D-480p	720x480	31.47	59.88	D-SXGA+ 1	1400x1050	63.97	60.19
D-575p	768x575	31.25	50.00	D-720p	1280x720	45.00	60.00
D-SVGA	800x600	37.879	60.32	D-720p	1280x720		50.00
D-XGA	1024x768	43.363	60.00	D-1035i	インターレース	33.75	60.00
D-WXGA 1	1366x768	48.36	60.00	D-1080i	インターレース	33.75	60.00
D-WXGA 2	1360x768	47.70	60.00	D-1080i	インターレース	28.125	50.00
D-WXGA 3	1376x768	48.36	60.00	D-1080psf/30	1920x1080	33.75	60.00
D-WXGA 5	1368x768	46.50	50.00	D-1080psf/25	1920x1080	28.13	50.00
D-SXGA 1	1280x1024	63.98	60.02	D-1080psf/24	1920x1080	27.00	48.00

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。
※ パネルサイズ（1024×768）を越える信号を投映するときは、信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。
※ 信号の種類・ご使用になるケーブルの長さや状態によっては、適切な映像にならない場合があります。

メニュー内容一覧



- インプット
  - インプット1
    - RGB（アナログ） → システム 1)
    - RGB（Scart）
    - RGB（PC デジタル)
    - RGB（AV HDCP）
    - モニター出力
  - インプット2
    - Video → システム 2)
    - Y, Pb / Cb, Pr / Cr → システム 3)
    - RGB → システム 1)
  - インプット3
    - Video → システム 2)
    - Y, Pb / Cb, Pr / Cr → システム 3)
    - S-Video → システム 2)

コンピュータ入力

XGA1

- システム 1)＊
  - モード 1
  - モード 2
  - SVGA 1
  - XGA 1
  - DXGA 1
  - ------

＊ 表示される内容は入力された信号によって異なります。

- PC 調整
  - 自動PC調整
  - トラッキング — 0 - 31
  - 総ドット数
  - 水平位置
  - 垂直位置
  - コンピュータ情報
  - クランプ
  - 画面領域 H
  - 画面領域 V
  - リセット — はい / いいえ
  - データ消去
    - モード 1〜10
    - 戻る
  - メモリー
    - モード 1〜10
    - 戻る
  - 戻る

- イメージ
  - 標準
  - リアル
  - イメージ 1〜10

- スクリーン
  - ノーマル
  - リアル
  - ワイド
  - フルスクリーン
  - デジタルズーム ＋
  - デジタルズーム －

ビデオ入力

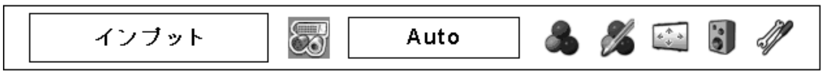
Auto

- システム 2)
  - Auto
  - PAL
  - SECAM
  - NTSC
  - NTSC 4.43
  - PAL-M
  - PAL-N

- システム 3)
  - Auto
  - 1080i
  - 1035i
  - 720p
  - 575p
  - 480p
  - 575i
  - 480i

- イメージ
  - 標準
  - シネマ
  - イメージ 1〜10

- スクリーン
  - ノーマル
  - ワイド



セッティング
- 言語
  - 英語
  - ドイツ語
  - フランス語
  - イタリア語
  - スペイン語
  - ポルトガル語
  - オランダ語
  - スウェーデン語
  - ロシア語
  - 中国語
  - 韓国語
  - 日本語
  - 戻る
- キーストーン — メモリー/リセット
- バックグラウンド — 黒 / マイロゴ / 青
- オンスクリーン表示 — オフ / カウントダウンオフ / オン
- ロゴ
  - ロゴ選択
    - オフ / 初期設定 / ユーザー
  - キャプチャー
    - はい / いいえ
  - ロゴ暗証番号ロック
    - オン / オフ
    - ロゴ暗証番号変更
    - 戻る
  - 戻る
- 天吊り — オン / オフ
- リア投映 — オン / オフ
- アナモフィック — オン / オフ
- シンプルメニュー — オン / オフ
- メニュー位置
- パワーマネージメント — オフ / 待機 / シャットダウン
- オンスタート — オン / オフ
- ランプコントロール — オート／ノーマル／エコ
- リモコンコード
  - コード 1~8
  - 戻る
- USB
  - マウス
  - プロジェクター
- セキュリティ
  - キーロック
    - オフ
    - プロジェクター
    - リモコン
  - 暗証番号ロック
    - オフ / オン1 / オン2
    - 暗証番号変更
  - 戻る
- ランプカウンター
  - 時間（使用時間）
  - リセット
  - 戻る
- 初期設定 — はい / いいえ

イメージ調整
- コントラスト — 0 - 63
- 明るさ — 0 - 63
- 色の濃さ — 0 - 63
- 色合い — 0 - 63
- カラーマネージメント
- 自動画質補正 — オフ/ L1 / L2
- 色温度 — 超低/低/中/高
- 赤 — 0 - 63
- 緑 — 0 - 63
- 青 — 0 - 63
- 画質 — 0 - 31
- ガンマ補正 — 0 - 15
- ノイズリダクション — オフ/ L1 / L2
- プログレッシブ — オフ/ L1 / フィルム
- リセット — はい / いいえ
- メモリー
  - イメージ 1~10
  - 戻る
- 戻る

サウンド
- 音量 — 0 - 63
- スピーカ — オン / オフ
- 消音 — オン / オフ
- 戻る

✽✽メニュー内の調整値は、実際と異なる場合があります。

仕　様

プロジェクター本体

型　　名	LC-X71D / LC-X71DL
種　　類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル 3枚　3原色光シャッター方式
液晶パネル	サイズ：1.3型 x 3 アスペクト比 4：3 駆動方式：ポリシリコンTFTアクティブマトリクス方式 画素配列：ストライプ 画素数：786,432画素（1,024 × 768）×3枚 総画素数 2,359,296 画素
投影レンズ	1.3倍ズームレンズ　F=1.8 ～ 2.1　f=48.4 ～ 62.8mm（LC-X71Dのみ）
光　　源	300W UHPランプ
ズーム/フォーカス調整	電動式（電動式レンズの場合）
入出力	
コンピュータ	DVI入力（1系統）：DVI-Dコネクター デジタル：TMDS (Transition Minimized Differential Signaling) アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 （G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性インピーダンス75Ω） アナログRGB入力（入力2系統・出力1系統）：BNC x 5ピン、ミニD-sub 15ピン アナログRGB信号：0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期：TTLレベル、負または正極性 （G信号中のコンポジット同期：0.3Vp-p、負極性インピーダンス75Ω）
ビ デ オ	ビデオ入力 (2系統) 映像/Y：BNC コネクター、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Pb：BNC コネクター、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Pr：BNC コネクター、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Y：BNC コネクター、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω S映像：セパレートYC信号、ミニDIN 4ピン Y；1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C；0.286Vp-p（バースト信号）、インピーダンス75Ω
音　　声	音声入力（2系統）：ミニジャック（ステレオ）、142mVrms、インピーダンス47KΩ以上 音声入力：ピンジャック、142mVrms、インピーダンス47KΩ以上（左モノ：右） 音声モニター出力（コンピュータ / ビデオ兼用）：ミニジャック（ステレオ）、可変出力、 インピーダンス1KΩ以下
制御入出力、他	コントロール ポート：ミニDIN 8ピン USB端子：USBコネクター、シリーズ B、シングルポート ワイヤード リモコン端子：ミニジャック PJ-to ネット・ディレクター コネクター
走査周波数	水平 15k～100kHz、垂直 48～100Hz
カラーシステム	6システム（NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N）
音声実用最大出力	ステレオ 3W + 3W (JEITA)
スピーカ	5 x 5 cm　円形 2個
電　　源	AC100V　50/60Hz
消費電力	480W（待機中消費電力15W）
本体寸法	幅 319×高さ 170.8×奥行 435.5mm（突起部含まず）
質　　量	9.0kg(LC-X70D) / 8.2kg(LC-X71DL)

<u>各プロジェクターによって色味が異なります。</u>

各プロジェクターはそれぞれ異なる特性を持っています。複数台のプロジェクターを用いて同じスクリーン上、または隣り合わせて投影される場合、プロジェクターのホワイトバランスや色味の違いが感じられます。これは各プロジェクター固有の特性によるものでプロジェクターの故障ではありません

※ 高調波電流規格　JIS C 61000-3-2:2005 適合品

※ HDCPとは、High-bandwidth Digital Contents Protectionの略称で、DVIを経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことです。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。本機のDVI-D入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投影することができます。HDCPの規格変更等が行なわれた場合、これらHDCP技術でコピープロテクトされたデジタル映像のDVI-D端子での再生はできなくなる場合があります。

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投影中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電源	DC3.0V　単3形アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約5m (受信部正面)
本体寸法	幅50 × 高さ36 × 奥行193 mm
質量	160g (電池を含む)
レーザポインタレーザ出力 (IEC60825-1,Am.1 1997)	クラス2レーザ製品 最大出力：1mW 波長：650±20mm

付属品

- ■ リモコン ································· 1個
- ■ リモコン用 アルカリ乾電池·················· 2本
- ■ 電源コード ································ 1本
- ■ 電源プラグアダプタ ························ 1個
- ■ コンピュータ接続ケーブル（D-sub用）······· 1本
- ■ マウスコントロールケーブル（シリアル用）··· 1本
- ■ USBケーブル······························ 1本
- ■ 取扱説明書
- ■ 保証書
- ■ 保証登録書（はがき）
- ■ レンズ交換・取付作業手順書
- ■ レンズキャップ ···························· 1個（LC-X71Dのみ）
- ■ PIN code lock シール ····················· 1枚

別売品

- ■ **DVI用コンピュータ接続ケーブル・・・・・・・・・・ 品番：KA-DV20**
- ■ **マウスコントロールケーブル（PS/2用）・・・・・・ 品番：POA-MCPS2**
- ■ **マウスコントロールケーブル（MAC用）・・・・・・ 品番：POA-MCMAC**
- ■ **リモコン接続コード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：POA-CA-R30**
- ■ **固定・短焦点レンズ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：AH-32011**
- ■ **短焦点ズームレンズ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：AH-23122**
- ■ **長焦点ズームレンズ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：AH-23132**
- ■ **超長焦点ズームレンズ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 品番：AH-24241**
- ■ **PJ-to ネット・ディレクター ・・・・・・・・・・・・・ 品番：PjNET-30**

●レンズ交換について●

本機はオプションレンズを使用することにより、レンズを交換して使用することができます。
レンズの取り付け・交換は、安全のため専門の販売技術員、または、サービス技術員にご相談ください。お客様自身での取り付け交換はしないでください。

●販売技術員・サービス技術員の方へ●

レンズの取り付け・交換は別冊のレンズ交換手順書にしたがい行なってください。レンズの取り付け・交換の前にレンズの品番を確認の上、正しいレンズをご使用ください。

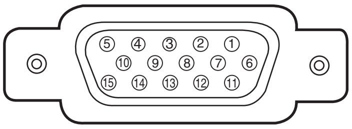
※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

端子の仕様

ANALOG IN / OUT（コンピュータ D-sub 入力端子 / モニター出力端子）

コンピュータからのアナログ（RGB）入力の端子として、またモニター出力端子としてはたらきます。接続には、D-sub用コンピュータ接続ケーブル（付属）をご使用ください。

ミニ D-sub 15ピン

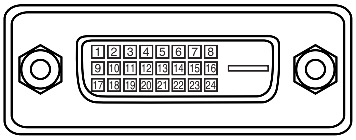


1	R	9	未接続
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	モニター ID0
4	モニター ID2	12	未接続
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	未接続
8	接地 (B)		

DIGITAL DVI-D TERMINAL（コンピュータ DVI-D 入力端子）

コンピュータからのデジタル（TMDS）出力を接続する端子です。接続には、DVI用コンピュータ接続ケーブル（別売）をご使用ください。

DVI 24ピン

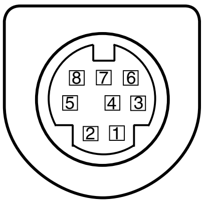


1	T.M.D.S. データ 2–	9	T.M.D.S. データ 1–	17	T.M.D.S. データ 0–
2	T.M.D.S. データ 2+	10	T.M.D.S. データ 1+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2 シールド	11	T.M.D.S. データ 1 シールド	19	T.M.D.S. データ 0 シールド
4	未接続	12	未接続	20	未接続
5	未接続	13	未接続	21	未接続
6	DDC クロック	14	+5V パワー	22	T.M.D.S. クロック シールド
7	DDC データ	15	接地 (+5V)	23	T.M.D.S. クロック+
8	未接続	16	ホットプラグ検知	24	T.M.D.S. クロック–

CONTROL PORT（コントロールポート端子）

接続したコンピュータのマウス操作を本機のリモコンで行なうときに接続する端子です。この端子とコンピュータのマウスポート（PS/2ポート、シリアルポート、または マウスポート）を付属または別売のマウスコントロールケーブルで接続します。

ミニ DIN 8ピン

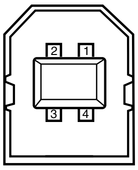


	マウス コントロール ケーブル の種類		
	PS/2 (別売)	シリアル (付属)	Mac (別売)
1	-----	R X D	-----
2	CLK	-----	ADB
3	DATA	-----	-----
4	接地	接地	接地
5	-----	RTS / CTS	-----
6	-----	T X D	-----
7	接地	接地	-----
8	-----	接地	接地

USB（ユニバーサルシリアルバス端子）

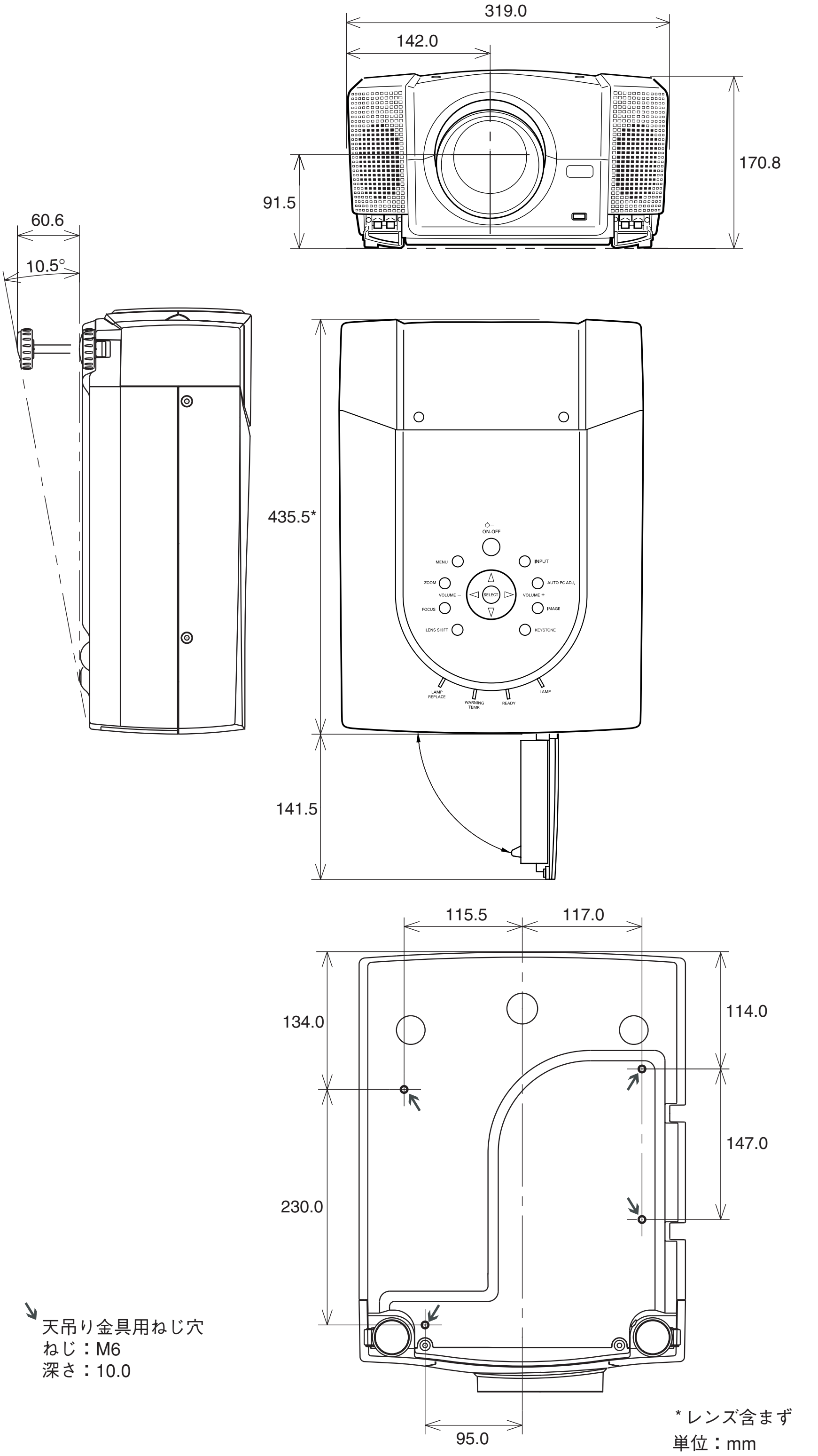
USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。また、マウスコントロールポート端子としても使用します。

USB コネクター (シリーズ B)



1	VCC
2	– DATA
3	+ DATA
4	接地

寸法図



天吊り金具用ねじ穴
ねじ：M6
深さ：10.0

*レンズ含まず
単位：mm

その他

PJ Link について

このプロジェクターはJBMIA(Japan Business Machine and Information System Industries Association：社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会)のPJLink標準定義のClass1に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class1によって定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink標準定義Class1との適合を検証しています。

プロジェクターの入力名		PJLink	
		入力名	パラメータ
インプット 1	RGB（アナログ）	RGB 1	11
	RGB（Scart）	RGB 2	12
	RGB（PC デジタル）	DIGITAL 1	31
	RGB（AV HDCP）	DIGITAL 2	32
インプット 2	Video	VIDEO 1	21
	Y, Pb/Cb, Pr/Cr	VIDEO 2	22
	RGB	RGB 3	13
インプット 3	Video	VIDEO 3	23
	Y, Pb/Cb, Pr/Cr	VIDEO 4	24
	S-video	VIDEO 5	25

PJ Link について

2003 年9 月、データプロジェクタ部会の中に、PJLink分科会が設立されました。このPJLink分科会の第1期の活動において、 プロジェクターの新たなインターフェース仕様としてPJLinkが規定されました。
PJLinkはプロジェクターを操作・ 管理するための統一規格です。
メーカを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラからの操作を実現します。
今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化をJBMIAによる推進で実現し、ユーザの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを目的としています。

Class 1：プロジェクターの基本機能の制御・監視仕様を標準化
基本的なプロジェクター制御：電源制御、入力切り替えなど
プロジェクターの各種情報・状態を取得：電源状態、入力切り替え状態、エラー状態、ランプ使用時間など

JBMIA：社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会。
　　　1960年に発足した日本事務機械工業会が、2002年4月1日より改称した団体です。

PJLink™

PJLinkはJBMIAの登録商標です。

PJLink　サイトURL
　http://pjlink.jbmia.or.jp

暗証番号が分からなくなったとき

暗証番号を忘れるとプロジェクターの操作ができなくなります

暗証番号を忘れると、プロジェクターの操作ができなくなります。以下の記入欄に登録した暗証番号を書き留めておくことをおすすめします。ただし、第三者に見られたり、持ち出されたりしないように、取扱説明書は大切に保管してください。暗証番号がわからなくなってしまったときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

暗証番号ロック
の暗証番号

工場出荷時の暗証番号：　１２３４*

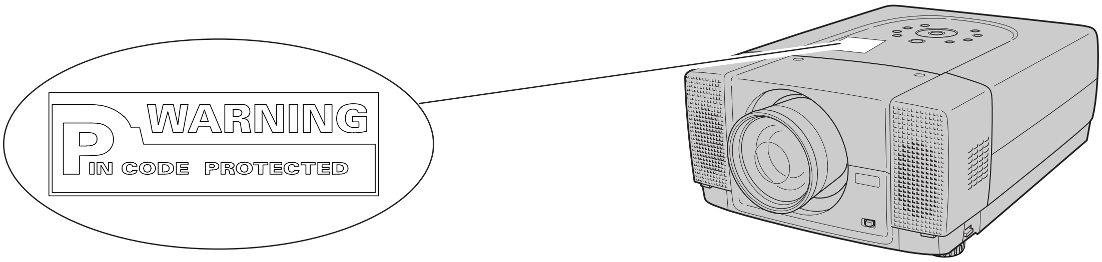
ロゴ暗証番号ロック
の暗証番号

工場出荷時の暗証番号：　４３２１*

*暗証番号を変更された場合は、工場出荷時の暗証番号は無効になります。

暗証番号が登録されていることをシールでわかるようにしましょう

暗証番号を登録し、暗証番号を有効にしているとき、付属のシールを本体の目立つところへ貼り付けます。



保証とアフターサービス

修理を依頼されるときのご注意

修理を依頼されるときはお買上の販売店に次のことをお知らせのうえ、修理をご依頼ください。

・ 品名、型名
・ 故障の症状
・ お名前、おところ

補修用性能部品について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

※補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

保証期間はお買上日より1年間です。保証書の記載内容により修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

映機工業株式会社

本　　　　社	〒530-0028	大阪市北区万才町4番12号（浪速ビル）	☎ (06)6311-9475（代表）
東　京　支　社	〒135-0042	東京都江東区木場3丁目14番4号（はが木場三ビル）	☎ (03)5621-3051（代表）
九　州　支　社	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東1丁目11番15号（博多駅東口ビル）	☎ (092)431-0222（代表）
AV ｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ事業本部	〒664-0026	伊丹市寺本6丁目23番地	☎ (072)781-3861（代表）

1AA6P1P5131-- (KE6D)